帝人株式会社
ファクトブック 事業基礎情報

最終更新：2024 年 9 月

目次

P. 1 マテリアルセグメント

P. 1 アラミド事業

P. 5 樹脂事業

P. 9 炭素繊維事業

P. 13 複合成形材料事業

P. 15 繊維・製品セグメント

P. 21 ヘルスケアセグメント

P. 32 その他セグメント

P. 32 コーポレート新事業

本資料内に記載されている商品やサービスの名称などは、帝人グループまたは該当する各社の商標もしくは登録商標です。
本資料内に含まれている医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。
©2024 帝人株式会社 All Rights Reserved.

マテリアルセグメント　アラミド事業

◆主要構成会社

会社名	所在地		事業分野	持株比率
1. 帝人(株)アラミド事業	日本	東京都 他	アラミド繊維等の製造・販売・研究開発	－ %
2. Teijin Aramid B.V.	オランダ	ヘルダーラント州	アラミド繊維等の製造・販売・研究開発	100 %
3. Teijin Aramid USA, INC.	アメリカ	ジョージア州	アラミド繊維の販売	100 %
4. Teijin Aramid de Mexico S.A. de C.V.	メキシコ	ヌエボ・レオン州	アラミド繊維の販売	100 %
5. Teijin Aramid do Brasil LTDA.	ブラジル	サンパウロ州	アラミド繊維の販売	100 %
6. Teijin Aramid Asia Co., Ltd.	中国	上海市	アラミド繊維の販売	100 %
7. Teijin Aramid GmbH	ドイツ	ノルトライン＝ヴェストファーレン州	アラミド繊維の販売	100 %
8. Teijin Corporation (Thailand) Limited	タイ	パトゥムターニー県	アラミド繊維の製造・販売、ポリカーボネート樹脂および加工品の販売	100 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。

◆年表

1962. 7	米アライドケミカル社のナイロン6製造技術導入許可を取得
1963.11	三原工場、ナイロン操業開始
1971. 4	岩国工場、耐熱性のメタ系アラミド繊維「コーネックス」操業開始
1987. 9	松山工場、高強力のパラ系アラミド繊維「テクノーラ」操業開始
1995. 9	米デュポン社とナイロン繊維の日本における製造販売会社、帝人デュポンナイロン(株)を設立
2000.12	オランダのアコーディス社から買収したパラ系アラミド繊維「トワロン」関連事業をTeijin Twaron B.V. として事業スタート
2002.10	ナイロン繊維事業からの撤収を決定し、帝人デュポンナイロン(株)の解消を決定
2003. 4	持株会社制への移行に伴い、帝人(株)の産業繊維事業を帝人テクノプロダクツ(株)へ分社化
2003. 7	オランダの Teijin Twaron B.V. において「トワロン」の増設を完了、操業開始
2003.12	ナイロン繊維事業から撤収
2006.12	オランダのTeijin Twaron B.V.において「トワロン」の増設を完了
2007. 9	Teijin Twaron B.V.の社名を、Teijin Aramid B.V.に変更
2011.10	高機能ポリエチレン製品の商業生産開始
2012.10	帝人テクノプロダクツ(株)を帝人(株)へ統合
2013. 4	上海に用途開発・技術サービス拠点「テクニカル・センター・アジア」設立
2013. 9	新規メタ系アラミド繊維の製造・販売、およびポリカーボネート樹脂及び加工品の販売拠点として、Teijin Corporation (Thailand) Limitedを設立
2015. 8	タイの Teijin Corporation (Thailand) Limited において「コーネックス」および「コーネックスネオ」の生産・販売を開始
2016. 3	パラ系アラミド繊維「テクノーラ」の10％生産増強を発表
2017.10	パラ系アラミド繊維「テクノーラ」の増産稼働を開始
2019.11	パラ系アラミド繊維「トワロン」の増設を決定、2022年に2017年比25％生産量増強を予定
2023. 6	パラ系アラミド繊維「トワロン」の増設設備の稼働開始

◆生産拠点

主要製品		所在地		会社	形態
パラ系アラミド繊維	「トワロン」	オランダ	フローニンゲン州 デフルセイル ドレンテ州 エメン	Teijin Aramid B.V.	長繊維、短繊維、パルプ
	「テクノーラ」	日本	愛媛県松山市	帝人(株) アラミド事業	長繊維、短繊維
メタ系アラミド繊維	「コーネックス」	日本	山口県岩国市	帝人(株) アラミド事業	短繊維
		タイ	アユタヤ県 バーンパイン郡	Teijin Corporation (Thailand) Limited	短繊維

◆研究開発拠点

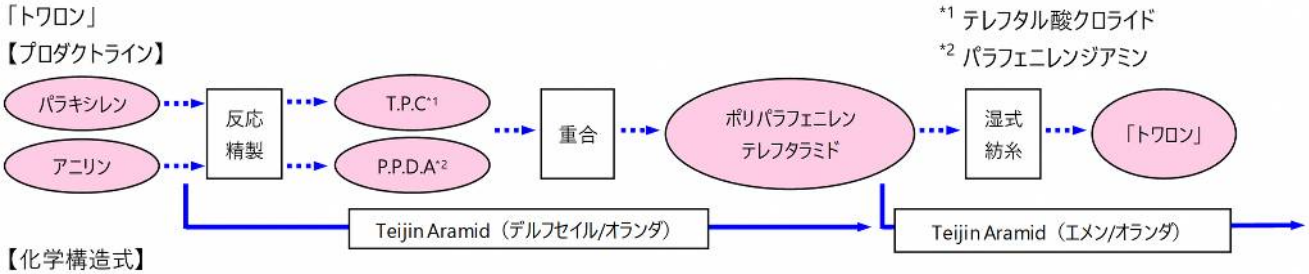
会社	所在地
帝人(株) アラミド事業	日本　愛媛県松山市 山口県岩国市
Teijin Aramid B.V.	オランダ　ヘルダーラント州 アーネム
Teijin Aramid Asia Co., Ltd.（テクニカル・センター・アジア）	中国　上海市

◆プロダクトライン・化学構造式

●パラ系アラミド繊維

「トワロン」

【プロダクトライン】

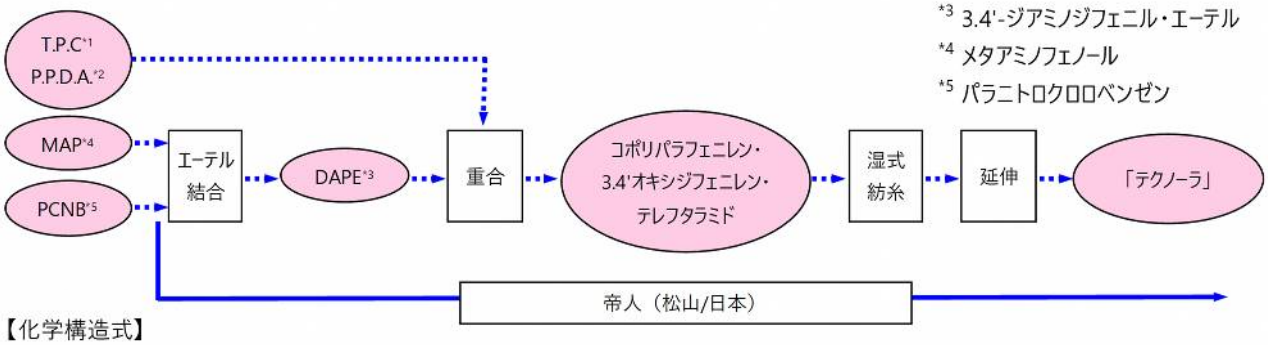


*1 テレフタル酸クロライド
*2 パラフェニレンジアミン

【化学構造式】

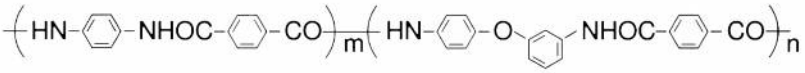
「テクノーラ」

【プロダクトライン】



*1 テレフタル酸クロライド
*2 パラフェニレンジアミン
*3 3.4'-ジアミノジフェニル・エーテル
*4 メタアミノフェノール
*5 パラニトロクロロベンゼン

【化学構造式】



●メタ系アラミド繊維

「コーネックス」

【プロダクトライン】

【化学構造式】

*1 イソフタル酸クロライド
*2 メタフェニレンジアミン
*3 日本では界面重合、タイでは溶液重合

◆製品の特性

●アラミド繊維

アラミド繊維とは、その分子骨格が芳香族(ベンゼン環)からなるポリアミド繊維であり、ナイロンの一種である。
米連邦通商委員会(FTC) が、従来の脂肪族ポリアミド繊維、すなわちナイロンと区別して、1974年に『アラミド』(aramid) という一般名を与え、その後、国際標準機構(ISO) も、1977年に人造繊維の分類名称としたものである。
アラミド繊維は、その分子骨格が全体に直線状のパラ系タイプと、ジグザグ状のメタ系タイプに大別されており、それぞれ異なる性質を有する。

製品		特性
パラ系アラミド繊維	「トワロン」 「テクノーラ」	高強力、高弾性率を有し、耐熱性、寸法安定性に優れる。例えば、引張強度は同一重量でスチールの 5 ～ 8 倍に相当する。このような優れた性質を生かし、主に防弾チョッキ、自動車のブレーキパッド等の摩擦材(アスベスト代替)やタイヤの補強材、光ファイバーの補強材等に使用されている。
メタ系アラミド繊維	「コーネックス」	ポリエステル並みの繊維性能(強伸度、弾性率、比重、風合い、色等)を持ちながら、長期耐熱性(200℃常時使用が可能)、難燃性(ナイロン、ポリエステルより引火点、発火点が高い)に優れることから、鉄鋼、セメント、アスファルト等の産業用耐熱集塵フィルター、消防用の防火服、各種プラント・サービスユニフォーム等に使用されている。

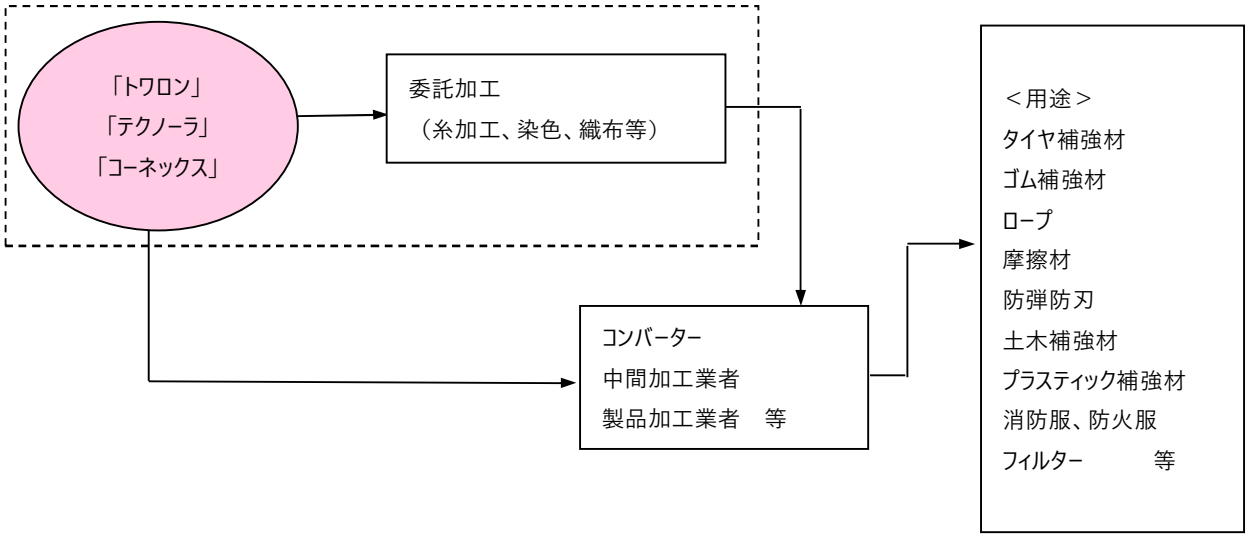
◆主要製品の用途展開

●アラミド繊維

◎：優れている　　○：やや優れている　　△：条件次第で優位

	タイプ	パラ系アラミド繊維		メタ系アラミド繊維
		「トワロン」	「テクノーラ 」(共重合)	「コーネックス」
用途	タイヤ	◎ 強度・弾性率	△ 強度・耐疲労性	
	ゴムベルト、ホース補強	○ 強度・弾性率	◎ 耐疲労性・耐熱性・強度	◎ 耐熱性
	ロープ・細幅ベルト	○ 強度・弾性率	◎ 強度・耐疲労性・耐熱性	
	摩擦材 （ブレーキ、ガスケット補強、 アスベスト代替）	◎ パルプ化が容易 耐熱・寸法安定性	× パルプ化が困難	△ 長期耐熱性 (ブレーキ材)
	防弾/防刃/防護手袋	◎ 防護特性・強度	○ 強度	
	土木グリッド 耐震補強シート	○ モジュラス、強度	◎ 強度、耐アルカリ良好 (コンクリート補強)	
	プラスチック補強材料 （熱可塑、熱硬化）	◎ 強度・弾性率	◎ 耐衝撃性・強度	○ 摺動性
	消防防火服,活動服 難燃ユニフォーム	○ 強度・短時間耐炎性	○ 強度・短時間耐熱性	◎ 耐熱性・難燃性
	フィルター (鉄鋼、セメント、アスファルト）			◎ 長期耐熱性
	光ファイバーケーブル補強	◎ 強度・弾性率	◎ 強度・耐疲労性	

◆販売形態


「トワロン」
「テクノーラ」
「コーネックス」
委託加工
（糸加工、染色、織布等）
コンバーター
中間加工業者
製品加工業者　等
＜用途＞
タイヤ補強材
ゴム補強材
ロープ
摩擦材
防弾防刃
土木補強材
プラスティック補強材
消防服、防火服
フィルター　　等

マテリアルセグメント　樹脂事業

◆主要構成会社

会社名	所在地		事業分野	持株比率
1. 帝人(株)樹脂事業	日本	東京都 他	ポリカーボネート樹脂およびコンパウンド品の製造・販売	－ %
2. 錦海化学(株)	日本	岡山県	臭素系難燃剤、ファインケミカル中間製品の製造・販売	99.90 %
3. 広島プラスチック(株)	日本	広島県	プラスチック成形品の製造・販売	100 %
4. テイヨー(株)	日本	広島県	プラスチック押出品の製造・販売	100 %
5. Teijin Polycarbonate China Ltd.	中国	浙江省	ポリカーボネート樹脂の製造	100 %
6. 帝人化成複合塑料(上海)有限公司	中国	上海市	ポリカーボネート樹脂のコンパウンド品の製造	100 %
7. Teijin Corporation (Thailand) Limited	タイ	パトゥムターニー県	アラミド繊維の製造・販売、ポリカーボネート樹脂のコンパウンド品の製造、ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
8. Teijin Kasei Europe B.V.	オランダ	リンブルフ州	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
9. Teijin Kasei Malaysia Sdn, Bhd.	マレーシア	クアラルンプール	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
10. 深圳帝人化成貿易有限公司	中国	広東省	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
11. 上海帝人化成貿易有限公司	中国	上海市	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
12. 台湾帝人化成股份有限公司	台湾	台北市	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
13. Teijin Kasei America,Inc.	アメリカ	ミシガン州	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %
14. 帝人化成香港有限公司	中国	香港	ポリカーボネート樹脂の販売	100 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。

◆年表

1959.10	ポリカーボネート樹脂「パンライト」商業生産技術確立
1960.11	帝人化成(株)松山工場にてポリカーボネート樹脂「パンライト」操業開始
1968. 7	ガラス繊維強化PET樹脂「FR-PET」を本格販売
1973. 9	PBT樹脂を事業化
1973.10	複合樹脂「マルチロン」の製造開始
1976.10	ポリカーボネート樹脂シート「パンライトシート」の製造開始
1982.10	コンパクトディスク（CD）用「パンライト」光学グレードの販売開始
1993. 6	プラスチックステクニカルセンターを千葉市に開設
1997. 6	ポリカーボネート樹脂の製造販売会社Teijin Polycarbonate Singapore Pte Ltd.をシンガポールに設立
1999.10	Teijin Polycarbonate Singapore Pte Ltd.にてポリカーボネート樹脂の生産開始（60,000トン/年）
2000.12	Teijin Polycarbonate Singapore Pte Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（60,000トン/年→80,000トン/年）
2001. 1	ポリプラスチックス(株)とのPBT樹脂、ガラス繊維強化PET樹脂「FR-PET」事業統合会社ウィンテックポリマー(株)営業開始
2001. 4	PET樹脂、PEN樹脂事業を帝人(株)から帝人化成(株)に譲渡
2001. 7	Teijin Polycarbonate Singapore Pte Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（80,000トン/年→130,000トン/年）
2002. 7	帝人化成複合塑料（上海）有限公司設立
2002.12	Teijin Polycarbonate Singapore Pte Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（130,000トン/年→180,000トン/年）
2003. 3	Teijin Polycarbonate China Ltd.を設立
2003. 8	帝人化成複合塑料（上海）有限公司のコンパウンド工場が操業開始
2003. 8	「メトン」事業を日本ゼオン(株)との合弁会社であるRIMTEC(株)に移管
2003.10	世界最大級の超大型射出プレス成形機（型締力：3,400トン）をプラスチックステクニカルセンター（千葉）に導入
2004. 4	世界初の完全循環型リサイクルシステムである「ボトル to ボトル」によるPETボトル用樹脂の販売を開始
2004. 8	Teijin Polycarbonate Singapore Pte.Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（+20,000トン/年）
2005. 4	Teijin Polycarbonate China Ltd.のポリマー工場運転開始（50,000トン/年）
2005. 7	ポリカーボネートシート押出機増設
2005.10	帝人化成複合塑料（上海）有限公司のコンパウンド工場第2期増設工事が完了し商業運転開始（総生産能力43,000トン/年）
2006. 3	ポリカーボネートフィルム用「次世代精密光学フィルム押出設備」稼動開始
2006. 4	Teijin Kasei Malaysia Sdn. Bhd.設立
2006. 6	Shenzhen Teijin Kasei Trading Co., Ltd.設立
2006.10	世界最大級の超大型2色回転射出プレス成型機完成
2006.12	Teijin Polycarbonate China Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（50,000トン/年→100,000トン/年）
2007.11	帝人化成複合塗料（上海）有限公司のポリカーボネート樹脂コンパウンド生産能力を増強（43,000トン/年→63,000トン/年）

2008.10	透明導電性フィルムの生産増強（120万m^2超）
2008.12	Teijin Polycarbonate China Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（100,000トン/年→130,000トン/年）
2009. 8	帝人化成複合塗料（上海）有限公司のポリカーボネート樹脂コンパウンド生産能力を増強（63,000トン/年→102,000トン/年）
2010. 4	中国域内でのより効率的な運営を目的とした新部署「中国事業統括室」を設置
2011. 4	ボトル用PET樹脂事業を三井化学(株)との合弁会社であるMCTペットレジン(株)に移管
2011. 9	Teijin Polycarbonate China Ltd.のポリカーボネート樹脂生産能力を増強（130,000トン/年→150,000トン/年）
2013. 4	帝人化成(株)を帝人(株)へ統合
2013. 9	PPS樹脂事業におけるSKケミカル社との合弁会社Initz Co., Ltd.を設立
2014. 3	Teijin Corporation (Thailand) Limitedにてポリカーボネート樹脂の販売活動開始
2015.12	Teijin Polycarbonate Singapore Pte Ltd. におけるポリカーボネート樹脂の生産を停止
2019. 9	Teijin Corporation (Thailand) Limitedの敷地内にコンパウンド工場とテクニカルセンターを新設し、稼働を開始
2024. 6	ポリカーボネート樹脂「パンライト」シート・フィルムの生産増強
2024. 6	ベトナムに駐在員事務所開設

◆生産拠点、生産能力

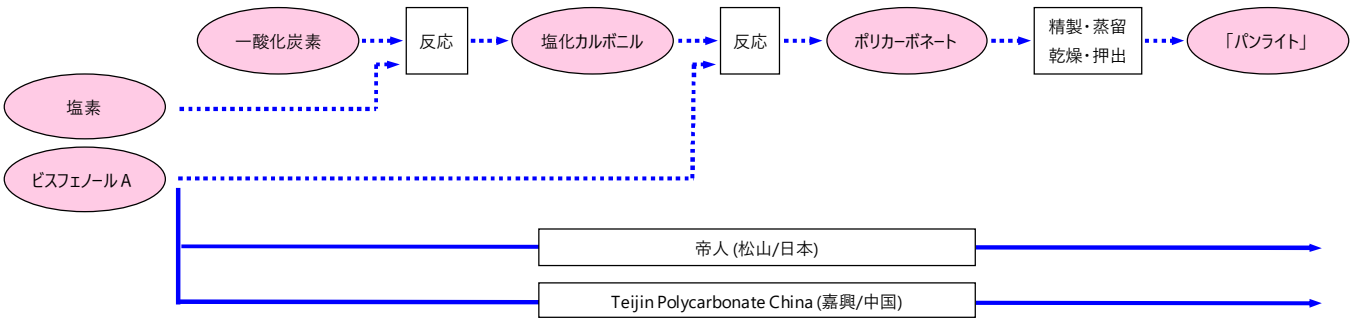
主要製品		拠点	会社	形態	生産能力（トン/年）
PC樹脂（ポリカーボネート樹脂）	PC樹脂「パンライト」「マルチロン」	日本　愛媛県松山市	帝人(株)樹脂事業	ポリマー	125,000
		中国　浙江省嘉興市	Teijin Polycarbonate China Ltd.	ポリマー	150,000
		日本　広島県三原市	帝人(株)樹脂事業	コンパウンド	非開示
		中国　上海市	帝人化成複合塑料(上海)有限公司	コンパウンド	102,000
		タイ　アユタヤ県バーンパイン郡	Teijin Corporation (Thailand) Limited	コンパウンド	非開示
	PCフィルム「ピュアエース」PCシート「パンライト」	日本　愛媛県松山市	帝人(株)樹脂事業	フィルム	非開示
				シート	16,100
PEN樹脂（ポリエチレンナフタレート樹脂）	「テオネックス」	日本　愛媛県松山市	帝人(株)樹脂事業	ポリマー	非開示
PET樹脂	-	日本　愛媛県松山市	帝人(株)樹脂事業	ポリマー	非開示

◆研究開発拠点

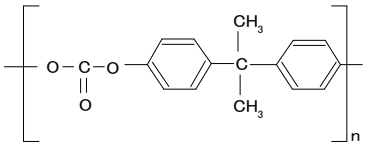
会社	所在地
帝人(株)樹脂事業	日本　愛媛県松山市 千葉県千葉市
帝人化成複合塑料(上海)有限公司	中国　上海市
Teijin Corporation (Thailand) Limited	タイ　アユタヤ県バーンパイン郡

◆プロダクトライン・化学構造式

【プロダクトライン】



【化学構造式】



◆製品の特性

PC樹脂：5大エンプラのなかで最も市場規模が大きく、透明性、耐衝撃性、寸法安定性、高強度の特性を有し、OA機器、自動車部品等の大型製品にも採用されている。

PET樹脂（ポリエチレンテレフタレート樹脂）：透明性、ガスバリア性、機械強度に優れ、ボトル用として広く採用されている。

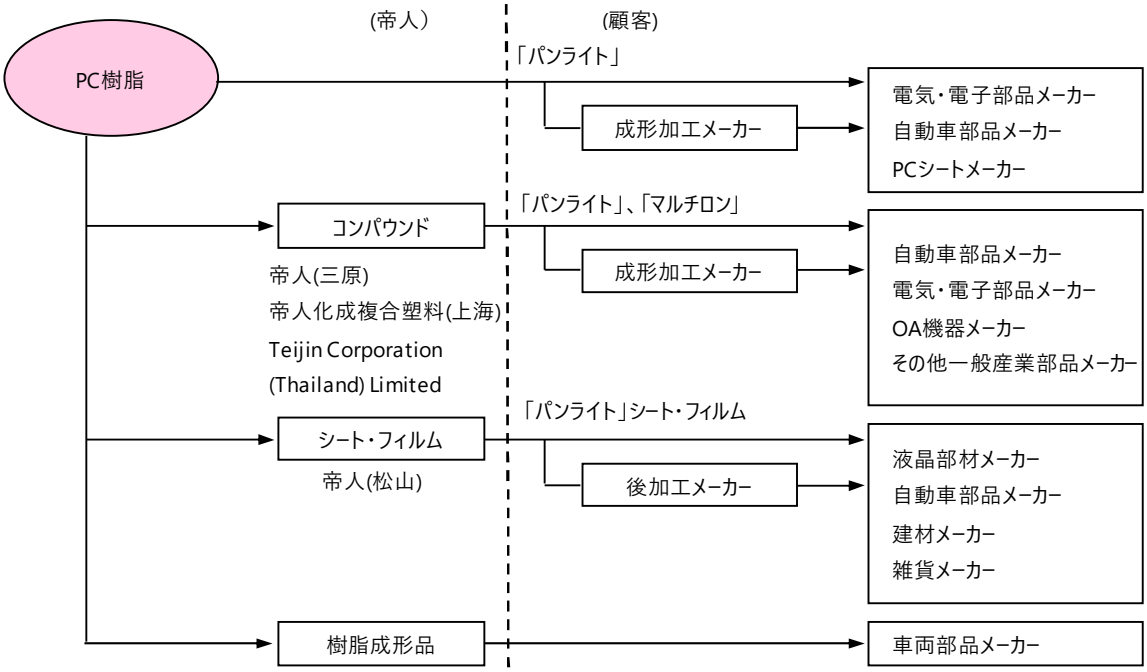
PEN樹脂（ポリエチレンナフタレート樹脂）：PET樹脂に比べ耐熱性、強度に優れ、食品用途、医療機器用途に使用されている。

製品	特性	
PC樹脂	衝撃特性	プラスチックの中で最高の強度を持つ (ガラスの200倍以上)
	耐熱性	低温領域から高温領域 (-100℃～129℃) まで、幅広い範囲で使用可能
	透明性	優れた光学特性を持ち、ガラスのように透明
	燃焼性	燃えにくい特性を持つ
	寸法安定性	吸湿・温度・時間による寸法変化が少ない (クリープ特性に優れる)
	電気的特性	広い温度範囲で優れた絶縁性を持つ
PET樹脂	ガスバリア性	透明で衛生性にも優れる
PEN樹脂	透明性	透明で紫外線遮断性能があり、内容物を保護する
	耐熱性	熱変形温度が高く、耐熱性に優れる
	ガス、水分透過	ガス・水分透過率が極めて低い
	耐薬品性、耐加水分解性	有機溶媒や化学薬品に対して優れた耐性を持つ フレーバーや汚れが吸着しにくい

◆主要製品の用途展開

製品	用途	分野	用途例
PC樹脂 「パンライト」 「マルチロン」	光学用途	光学レンズ	スマートフォンのカメラレンズ、車載カメラのレンズ、眼鏡レンズ等
		その他	Blu-Rayディスク、DVD等
	一般産業用途	電気・電子機器	LEDランプ、パソコン、AV機器、デジタルカメラ等の外装材
		OA機器	各種OA機器の外装材・機構部品、プリンタ等の光学シャーシ
		自動車	ヘッドランプレンズ、ドアハンドル等の外装部材、内装部材等
		その他	信号機レンズ、各種家電品外装材等
PEN樹脂 「テオネックス」			医療機器、給食用食器、化粧品容器
PET樹脂			食品用容器・シート材料
PCシート・フィルム 「パンライト」シート・フィルム		自動車	メーターパネル、ヒーコンパネル、カーナビ前面板
		電気・電子	液晶ディスプレイ材料（導光板、前面板等）
		車両	建機ルーフ、二輪車風防
		雑貨	自販機用ダミー缶・ボトル
「ピュアエース」		電気・電子	液晶ディスプレイ材料（液晶用光学補償フィルム、車載・ 反射防止フィルム）、有機EL用反射防止フィルム
		光学	3D眼鏡、偏光サングラス

◆販売形態



マテリアルセグメント　炭素繊維事業

◆主要構成会社

会社名	所在地		事業分野	持株比率
1. 帝人(株)炭素繊維事業	日本	東京都 他	炭素繊維などの製造・販売	－ %
2. Teijin Carbon America, Inc.	米国	サウスカロライナ州他	炭素繊維などの製造・販売	100 %
3. Renegade Materials Corporation	米国	オハイオ州	炭素繊維中間材料（プリプレグ）の製造・販売	100 %
4. Teijin Carbon Europe GmbH	ドイツ	ノルトライン＝ヴェストファーレン州	炭素繊維などの製造・販売	100 %
5. Teijin Carbon Vietnam Co., Ltd.	ベトナム	ハナム省	炭素繊維中間材料（プリプレグ）の製造・販売	100 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。

◆年表

1999.10	炭素繊維事業への進出を目的として東邦レーヨン(株)(現東邦テナックス(株))へ資本参加
2000. 2	東邦レーヨン(株)の株式持分を買い増し、連結子会社化
2006. 9	ドイツのToho Tenax Europe GmbH（現 Teijin Carbon Europe GmbH）において「テナックス」の増設を完了（1,900トン/年→3,400トン/年）
2007. 9	東邦テナックス(株)の完全子会社化
2008. 4	東邦テナックス(株)三島事業所において「テナックス」の増設完了（3,700トン/年→6,400トン/年）
2009. 8	Toho Tenax Europe GmbH（現 Teijin Carbon Europe GmbH）Line4 完成（3,400トン/年→5,100トン/年）
2009.12	Toho Tenax America, Inc.（現 Teijin Carbon America, Inc.） Line3 改造（2,000トン/年→2,400トン/年）
2010. 9	Toho Tenax Europe GmbH（現 Teijin Carbon Europe GmbH） Line4 稼動開始
2013.11	Toho Tenax America, Inc.（現 Teijin Carbon America, Inc.）の炭素繊維生産ラインを休止
2014. 5	炭素繊維強化熱可塑性樹脂積層板（「テナックス TPCL」）がエアバス社A350XWBの一次構造材向けに採用認定
2016. 1	Toho Tenax America, Inc.（現 Teijin Carbon America, Inc.）において耐炎繊維「パイロメックス」の40％生産能力増強を発表
2017.11	米国の炭素繊維工場建設と、国内三島事業所におけるプリカーサの生産能力増強を発表
2018. 4	東邦テナックス(株)を帝人(株)に統合
2019. 1	熱可塑性樹脂を使用した一方向性プリプレグテープがボーイング社の航空機一次構造材向けに認定
2019. 8	航空・宇宙用途向けに高耐熱熱硬化プリプレグを製造・販売する米国Renegade Materials Corporation社を買収
2021. 7	ベトナム・ハナム省にTeijin Carbon Vietnam Co., Ltd.を設立し、商業生産を開始
2021.10	Renegade Materials Corporationにおいて航空機向け高耐熱熱硬化プリプレグの生産能力増強を発表
2022. 3	米国 炭素繊維工場（現 Teijin Carbon America, Inc.）稼働開始

◆生産拠点、生産能力

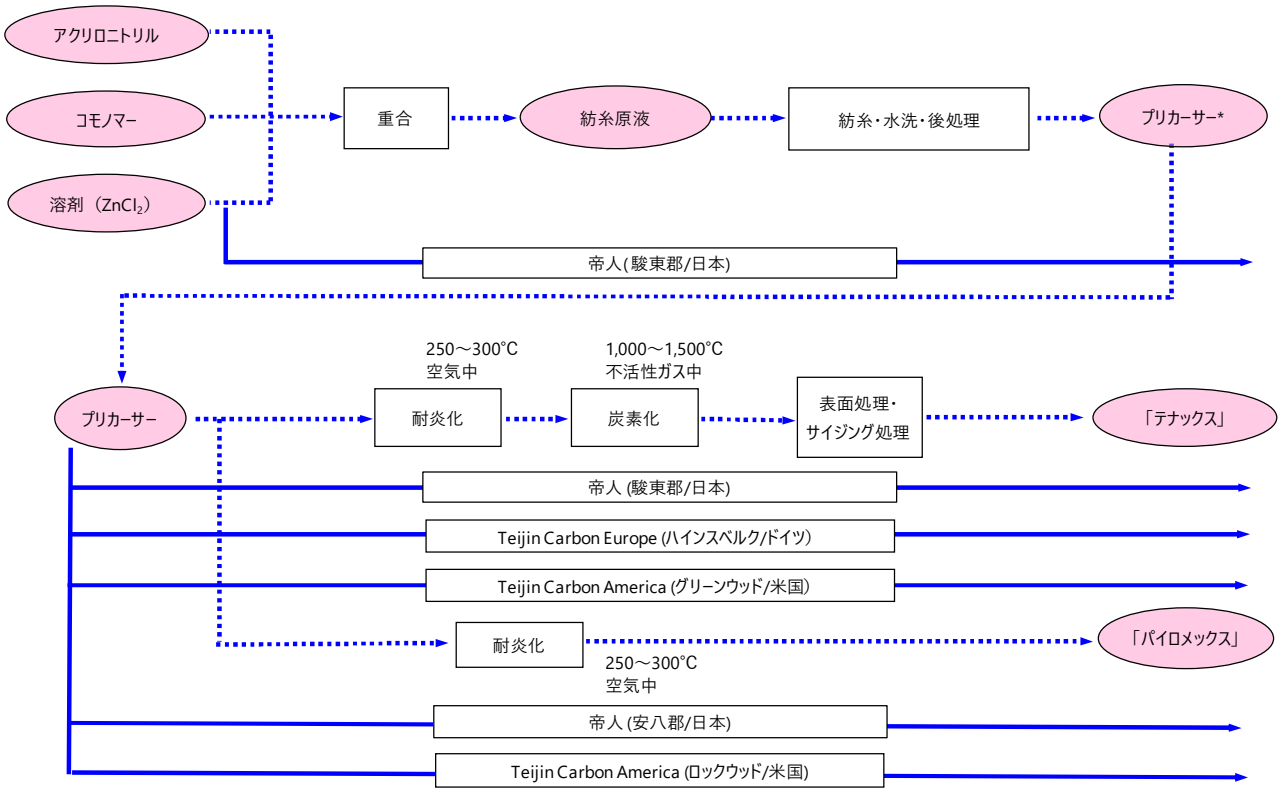
主要製品		所在地		会社	形態	生産能力（トン/年）
炭素繊維	「テナックス」	日本	静岡県駿東郡	帝人(株)炭素繊維事業	レギュラートウ・フィラメント	6,400
		ドイツ	ノルトライン＝ヴェストファーレン州 ハインスベルク	Teijin Carbon Europe GmbH	レギュラートウ・フィラメント	5,100
		米国	サウスカロライナ州 グリーンウッド	Teijin Carbon America, Inc.	レギュラートウ・フィラメント	非開示
耐炎繊維	「パイロメックス」	日本	岐阜県安八郡	帝人(株)炭素繊維事業	トウ	非開示
		米国	テネシー州 ロックウッド	Teijin Carbon America, Inc.	トウ	非開示
中間材料	「テナックス」	日本	静岡県駿東郡	帝人(株)炭素繊維事業	プリプレグ	非開示
		ドイツ	ノルトライン＝ヴェストファーレン州 ハインスベルク	Teijin Carbon Europe GmbH	熱可塑性樹脂積層板（TPCL）	非開示
		米国	オハイオ州 マイアミズバーグ	Renegade Materials Corporation	プリプレグ	非開示
		ベトナム	ハナム省 ズイティエン	Teijin Carbon Vietnam Co., Ltd.	プリプレグ	非開示

◆研究開発拠点

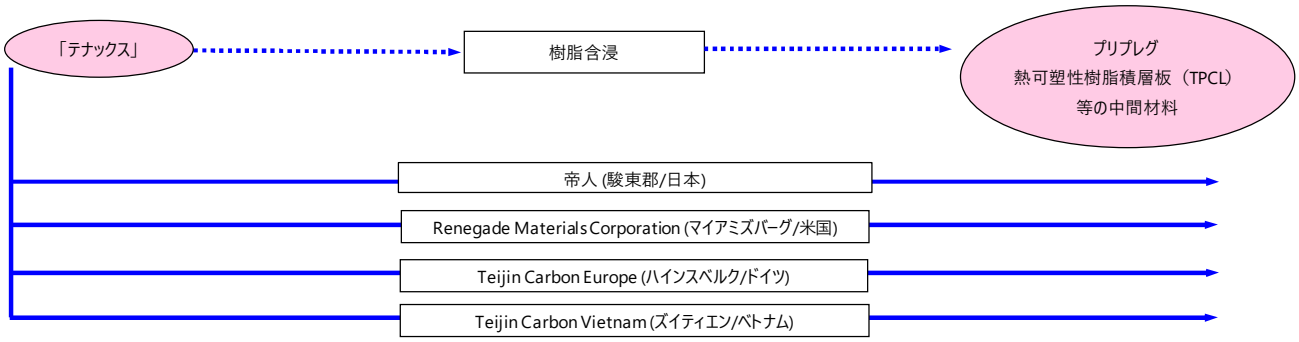
会社	所在地
帝人(株)炭素繊維事業	日本　静岡県駿東郡
Teijin Carbon Europe GmbH	ドイツ　ノルトライン＝ヴェストファーレン州 ヴッパータール
Renegade Materials Corporation	米国　オハイオ州 マイアミズバーグ

◆プロダクトライン・化学構造式

●炭素繊維「テナックス」、耐炎繊維「パイロメックス」



●中間材料



*プリカーサー：前駆体　炭素繊維製造用の原料繊維。帝人は衣料用とは異なった共重合組成を有するアクリル繊維プリカーサーを使用している。
一般的にはアクリル繊維のほか、ピッチ系繊維、レーヨンなどがプリカーサーとして使用されるが品質的にはアクリル繊維が最適とされている。

◆製品の特性

●炭素繊維・耐炎繊維

製品	特性
炭素繊維 「テナックス」 (レギュラートウ)	密度が金属に比べて小さく、引張強度、引張弾性率が高く、疲労特性、摩耗特性、潤滑性にも優れており、鉄の10倍の強さを持ちながらも4分の1の軽さを実現している。また、熱膨張係数が小さく、寸法安定性に優れており、高温下における機械的性質の低下ならびに極低温域での熱伝導率も小さい。化学的安定性に優れており、酸、塩基、各種溶媒に侵されにくい。電気・電磁的には、導電性で電磁波シールド性があり、X線の透過性にも優れるという特徴を持つ。
耐炎繊維 「パイロメックス」	優れた耐炎性を持つ。高温での物性低下が少なく、重量変化、寸法安定性に優れる。また、有機溶剤及び弱酸・弱アルカリに強い抵抗力をもち、強酸・強アルカリにも短時間であれば抵抗性がある。無機繊維には無い紡織加工性やドレープ性を有する。

炭素繊維におけるレギュラートウとラージトウの相違点

	レギュラートウ	ラージトウ
フィラメント数	～24K (24,000本)	40K (40,000本)～
主な使用分野	航空宇宙・スポーツレジャー・産業資材	産業資材（風力発電、チョップなど）
特徴	機械的性能が高い・取扱い性が良い	低価格

●中間材料

製品	特性
プリプレグ	硬化していない熱硬化性樹脂（エポキシ樹脂、ビスマレイミド樹脂、ポリイミド樹脂等）を炭素繊維に含浸させたシート状の材料 主に航空宇宙やスポーツ分野の部品・部材（複合材料）の成形用材料として用いられる
熱可塑性樹脂積層板 （TPCL）	熱可塑性樹脂（ポリエーテルエーテルケトン等）を炭素繊維に含浸させたシート状の材料 エアバス社のA350XWB（エクストラ・ワイド・ボディ）機向け部材の成形材料として採用されている

◆主要製品の用途展開

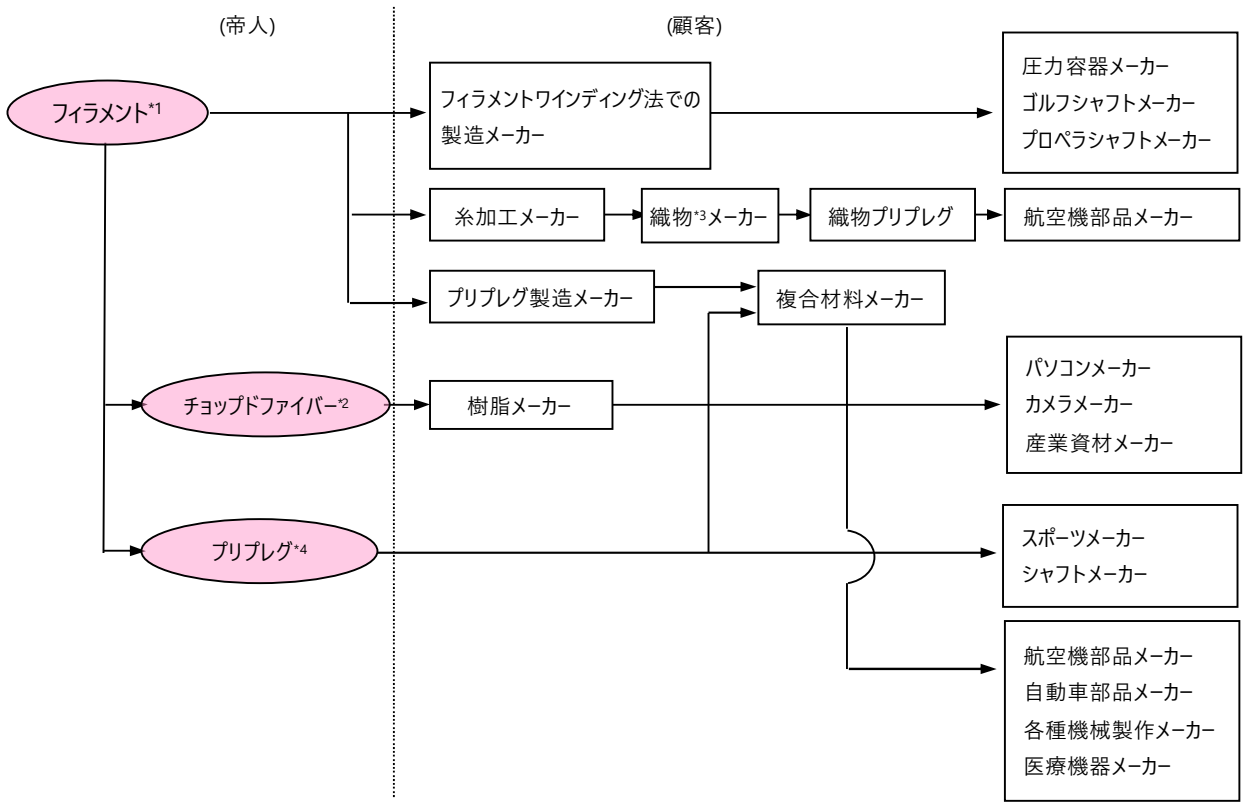
●炭素繊維「テナックス」

分野	主な用途	
航空宇宙	飛行機	一次構造材 (主翼、尾翼、胴体) 二次構造材 (補助翼、方向舵、昇降舵) 内装材 (フロアーパネル、ビーム、ラバトリー、座席)
	その他	ロケット、人工衛星
スポーツ、レジャー		ラケット (テニス、バトミントン)、ゴルフクラブ、釣り竿、自転車、 アイスホッケー用スティック、ヨット、クルーザー
産業資材	風力発電	ブレード、ナセル
	輸送機器	自動車パーツ、自動二輪車パーツ、鉄道車体、船舶
	圧力容器	油圧シリンダー、ボンベ
	土木建築	ケーブル、コンクリート補強材
	OA・事務機	パソコン筐体、プリンターの軸受、カム、ハウジング
	その他	機械部品、電気・電子部品、精密機器、化学装置、医療機器、耐食機器

●耐炎繊維「パイロメックス」

分野	主な用途	
航空宇宙	飛行機	航空機ブレーキ材
産業資材	耐熱・保護	断熱材
	電気・電子部品	NAS電池電極材
	燃料電池	GDL

◆販売形態



*1 フィラメント：多数(1,000本、3,000本、6,000本、12,000本、24,000本)の単繊維から構成される長繊維束。撚りなし、撚りありの種類有り。
*2 チョップドファイバー：サイジング剤（糊剤）で集束された長繊維状原糸を所定の長さに切断した短繊維束。
*3 織物：フィラメントで構成される織布。平織り、綾織り、朱子織りなどの種類あり。
*4 プリプレグ：Pre-impregnated material　の略称で、炭素繊維に熱硬化樹脂を含浸させた半硬化状態のシート状成形用中間材料。
成形品の品質が安定しており、積層作業の自動化に適している。

マテリアルセグメント　複合成形材料事業

◆主要構成会社

会社名	所在地	事業分野	持株比率
1. 帝人(株)複合成形材料事業	日本　東京都 他	複合材料・製品の製造・販売	－ %
2. Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.	米国　ミシガン州	自動車向け複合材料・部品の設計・成形・加工	100 %
3. Teijin Automotive Technologies Portugal, S.A.	ポルトガル　ポルト県	自動車向け複合材料・部品の設計・成形・加工	100 %
4. Teijin Automotive Technologies Czech s.r.o.	チェコ　中央ボヘミア州	自動車向け複合材料・部品の設計・成形・加工	100 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。

◆年表

2011. 4	新事業開発グループ内に設置していた複合材料開発センターなどを統合し、「炭素繊維・複合材料事業グループ」に組織再編
2011.12	Teijin Advanced Composites America Inc. を米国に設立
2012.12	熱可塑性CFRP製品の松山パイロットプラント稼働開始
2013. 5	「複合材料開発センター」松山事業所内へ移転
2014.11	熱可塑性CFRP製品「セリーボ」がGM社の材料認定を取得
2017. 1	自動車向け複合材料製品を手掛ける米Continental Structural Plastics Holdings Corporation(以下、CSP社)を買収
2018. 7	CSP社の欧州の開発拠点CSP Europe社にGF-SMC(Glass Fiber-Sheet Molding Compound)製造ラインを新設
2018. 8	ポルトガルの自動車向け複合材料成形メーカーInapal Plasticos社を買収
2019. 1	CSP社の中国合弁であるCSP-Victall社が中国・常州市に工場新設を発表
2019. 5	米GM社の新型車種に熱可塑性CFRP製品「セリーボ」が採用
2019. 9	チェコの自動車向け複合材料部品メーカーBenet Automotive社を買収
2019. 9	米国テキサス州における工場の新設を発表
2020. 2	自動車向け複合成形材料のテクニカルセンターTeijin Automotive Center Europeをドイツに設立
2020.12	CSP-Victall社を連結子会社化
2020.12	CSP社が米国ミシガン州に先端技術の開発拠点Advanced Technologies Centerを開設
2021. 9	グローバル展開している自動車向け複合成形材料事業を統合し、事業ブランド名を「テイジン・オートモーティブ・テクノロジーズ」として展開
2023. 8	中国事業からの撤収を決定
2023.12	中国事業からの撤収を完了

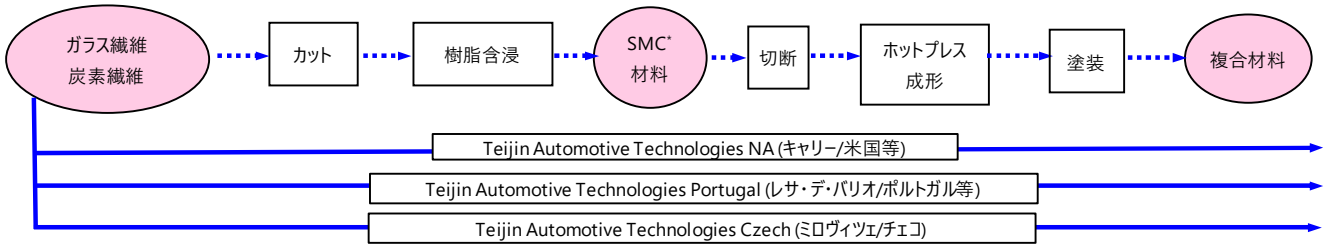
◆生産拠点

主要製品	所在地		会社
複合成形材料	日本	岐阜県安八郡	帝人(株)複合成形材料事業
		愛媛県松山市	帝人(株)複合成形材料事業
	米国	オハイオ州 キャリー	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		オハイオ州 コニオート	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		オハイオ州 ノースポルティモア	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		オハイオ州 バンワート	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		インディアナ州 グラビル	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		インディアナ州 ハンティントン	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		ノースカロライナ州 ソールズベリー	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		ノースカロライナ州 レノア	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		ルイジアナ州 サレプタ	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		テキサス州 セギーン	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
	メキシコ	バハ・カリフォルニア州 ティフアナ	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
		コアウイラ州 サルティーヨ	Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.
	ポルトガル	ポルト県 レサ・デ・バリオ	Teijin Automotive Technologies Portugal, S.A.
		セトゥーバル県 パルメラ	Teijin Automotive Technologies Portugal, S.A.
	チェコ	中央ボヘミア州 ムラダー・ボレスラフ	Teijin Automotive Technologies Czech s.r.o.
		南ボヘミア州 ミロヴィツェ	Teijin Automotive Technologies Czech s.r.o.
	フランス	メーヌ＝エ＝ロワール県 ポアンセ	Teijin Automotive Technologies France

◆研究開発拠点

会社	所在地
帝人(株) 複合成形材料事業	日本　愛媛県松山市
Teijin Automotive Technologies NA Holdings Corp.	アメリカ　ミシガン州 オーバーンヒルズ
Teijin Automotive Technologies France	フランス　メーヌ＝エ＝ロワール県 ポアンセ
Teijin Automotive Technologies Wuppertal GmbH	ドイツ　ノルトライン＝ヴェストファーレン州 ヴッパータール

◆プロダクトライン



*SMC：Sheet Molding Compound　2~3センチ程度の長さにカットした繊維をランダムに配置し、樹脂を含浸したシート状の材料
そのSMC材料を裁断し、金型で加圧加熱し硬化させ、成形品を得る(SMC成形)

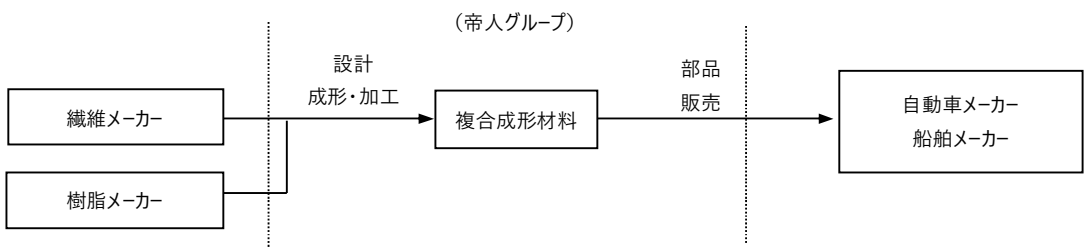
◆製品の特性

複合材料とは、異なる性質をもつ2種類以上の材料を複合加工して形成されたもので、個々の材料より優れた性質・性能をもつ材料を意味する。
強化繊維と樹脂を組み合せた繊維強化プラスチック（FRP）が代表的。繊維強化プラスチックは使用する繊維、樹脂によって様々な特性を持たせることができ、顧客のニーズに合わせて広範なソリューション提供が可能。金属に代えて繊維強化プラスチックなどの複合材料を使用することで、軽量化、高強度、形状自由度、加工プロセス短縮などの効果が得られる。

製品	特性
ガラス繊維複合材料	ガラス繊維で強化されたプラスチック。一般的に軽量だが弾性率の低いプラスチックを、弾性率の高いガラス繊維で補強・強化した、軽量で強度の高い複合材料。炭素繊維複合材料に比較すると強度や軽量性は下回るものの、比較的安価であり、耐久性にも優れることから、小型船舶の船体やユニットバス、浄化槽などの住宅設備機器に利用される。近年は自動車・鉄道車両の内外装材料、小型ボートの船外機、電気自動車のバッテリーカバーとしての採用拡大が進んでいる。
炭素繊維複合材料	炭素繊維で強化されたプラスチック。一般的に軽量だが弾性率の低いプラスチックを、弾性率の高い炭素繊維で補強・強化した複合材料。鉄やアルミなどの他素材と比較して非常に軽量でかつ高い強度、弾性を有する。従来、航空機、釣竿・ラケット・自転車などのスポーツ用途や風力発電ブレードへの採用が主であったが、近年、炭素繊維をベースとした様々な中間材料や成形方法の技術開発が進んだことにより、量産自動車への採用が進みつつある。自動車排ガスなど環境規制ソリューションとして採用拡大が期待されている。

用途	使用箇所
自動車	外板部品（SUV向けルーフ、ピックアップトラック向けトラックベッド、スポーツカー向けルーフ、フェンダー、大型トラック向けフード等） EV向けバッテリーカバー、構造材（アンダーボディーシールド等）、他
船舶	船外機

◆販売形態



繊維・製品セグメント

◆主要構成会社

会社名	所在地	事業分野	持株比率
1. 帝人フロンティア(株)	日本　大阪府	衣料・産業資材用途の原材料・製品の販売	100 %
2. 帝人コードレ(株)	日本　大阪府	人工皮革および合成皮革等の製造・販売	100 %
3. 帝人テディ(株)	日本　愛媛県	ポリエステル繊維の製造およびコード加工	100 %
4. 帝人フロンティアニッティング(株)	日本　石川県	各種繊維の加工糸及び編物の製造・販売	100 %
5. (株)フォークナー	日本　岡山県	紳士服の製造販売・物流加工	100 %
6. 帝人物流(株)	日本　大阪府	貨物運送、倉庫および流通加工	100 %
7. (株)帝健	日本　大阪府	健康・快適・防災・安全に関する製品の製造販売	100 %
8. 帝人フロンティアDG(株)	日本　新潟県	合繊織物の製造	99.00 %
9. 帝商産業(株)	日本　福井県	ボビン・包装材料の回収および原糸・織編物の運送・保管	100 %
10. (株)テクセット	日本　東京都	生活関連消費財の企画・販売	100 %
11. ユニセル(株)	日本　山口県	合成繊維・長繊維・不織布の製造・販売	100 %
12. Teijin Polyester (Thailand) Limited	タイ　パトゥムターニー県	ポリエステル繊維等の製造・販売	67.61 %
13. Teijin (Thailand) Limited	タイ　パトゥムターニー県	ポリエステル繊維等の製造・販売	100 %
14. Thai Namsiri Intertex Co., Ltd.	タイ　バンコク都	ポリエステル長繊維織物等の製造・販売	81.25 %
15. 南通帝人有限公司	中国　江蘇省	ポリエステル長繊維織物等の製造・販売	100 %
16. 日岩帝人汽車安全用布（南通）有限公司	中国　江蘇省	自動車産業向け繊維品の加工、製造、販売	64.35 %
17. J.H. Ziegler GmbH	ドイツ　バーデン=ヴュルテンベルク州	不織布をベースとした自動車向け吸音材コンポジット、多層シートワディング材の開発・製造・販売	100 %
18. Teijin FRA Tire Cord (Thailand) Co., Ltd.	タイ　アユタヤ県	タイヤコード織物の製造	66.66 %
19. Teijin Frontier (Thailand) Co., Ltd.	タイ　バンコク都	繊維製品の国内販売および輸出入	100 %
20. 帝人汽車用布加工（南通）有限公司	中国　江蘇省	高級布帛の織編および染色仕上げ加工と販売、原材料・製品の仕入れと販売	100 %
21. Teijin Cord (Thailand) Co., Ltd.	タイ　パトゥムターニー県	農業用機械および産業用伝動ベルトの芯体生産販売	100 %
22. Teijin Frontier (Hong Kong) Limited.	中国　香港	輸出入、国内販売および三国間貿易	100 %
23. Teijin Frontier (U.S.A.), Inc.	米国　ニューヨーク州	輸出入、国内販売および三国間貿易	100 %
24. 帝人商事（上海）有限公司	中国　上海市	繊維製品等の輸出入及び販売	100 %
25. Teijin Frontier Europe GmbH	ドイツ　ハンブルク州	輸出入および国内販売代理店業務、三国間貿易	100 %
26. PT. Teijin Frontier Indonesia	インドネシア　ジャカルタ	繊維品を中心とするインドネシア産品の輸出および仲介業務	100 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。

◆年表

●繊維・製品事業

1952.11	帝人商事(株)設立
1960. 4	(株)フォークナー設立
1979. 9	(株)帝健設立
1988. 5	(株)テクセット設立
1989. 7	(株)テイジンメンズショップ、(株)ウィンクル、テイジン・インテリアート(株)の 3 社を合併、(株)テイジンアソシア設立 タイのポリエステル長繊維の製織・染色会社Thai Namsiri Intertex Co.,Ltd.設立
1994. 3	中国江蘇省の南通市経済技術開発区総公司と合弁で裏地の染色加工及び販売会社南通帝人有限公司設立
1995. 4	帝人香港有限公司設立
1995.10	タイのThai Namsiri Intertex Co.,Ltd.に資本参加、経営権獲得
2001. 4	帝人商事(株)、日商岩井アパレル(株)が合併し、NI帝人商事(株)として営業開始 海外拠点の拡大（ミラノ、台北、ホーチミン、ハノイ、ロサンゼルス）
2001. 7	Fashion Force No.1 Factory Co., Ltd.設立（ベトナム）
2002. 4	衣料用ポリエステル繊維事業を分社化し、帝人ファイバー(株)設立
2003. 1	日岩帝人商事（上海）有限公司の大連、青島、無錫、寧波事務所を開設
2003.11	カーシートメーカーの中国進出、および中国でのテキスタイルの高付加価値素材ニーズの高まりに対応するため、中国・南通市に帝人加工糸（南通）有限公司設立

2004. 9	帝人グループのインターネット通販ショップ「くらし＠サイエンス」スタート
2005. 7	日岩帝人商事（上海）有限公司の広州事務所を開設
2008. 4	NI帝人商事(株)東京支社分室原宿オフィス新設
2009. 3	旭化成せんい(株)からポリエステル繊維の一部について商権譲受及びOEM生産受託を合意
2010. 2	NI帝人商事(株)ダッカ駐在員事務所の開設
2010. 5	日岩帝人商事（上海）有限公司の寧波事務所を閉鎖
2011. 1	法人向けインターネット通販ショップ「未来＠サイエンス」スタート
2011.12	日岩帝人商事（上海）有限公司の無錫事務所を閉鎖
2012.10	NI帝人商事(株)と帝人ファイバー(株)のアパレル事業が統合し、帝人フロンティア(株)として事業開始
2013. 2	Fashion Force No.1 Factory Co., Ltd.、帝人フロンティア(株)のホーチミン事務所、ハノイ事務所を統合、Teijin Frontier (Vietnum) Co., Ltd.設立
2013. 4	Teijin Frontier (Hong Kong) Limited.と帝人香港有限公司が合併
2013. 9	Teijin Frontier Myanmar Co., Ltd. 設立
2014. 6	タイヤコードの生産を行う合弁会社Teijin FRA Tire Cord (Thailand) Co., Ltd.設立
2016. 4	車両資材事業における初めての米州拠点として、メキシコにTeijin Frontier Mexico, S.A. DE C.V.を設立
2017. 4	ポリエステル繊維事業を製品事業グループに統合し、繊維・製品事業グループが発足
2018. 1	タイにおけるポリエステルを中心とした繊維の研究開発拠点として、帝人フロンティア・タイ・イノベーション研究室（タイ）を開設
2018. 8	欧州を中心に自動車向け内装材の生産・販売を展開するJ.H. Ziegler GmbHを買収
2021. 2	海外拠点の販売力強化とグローバルネットワークのさらなる拡大を図るため、インドに Teijin Frontier India Private Limitedを設立
2021. 3	(株)テイジンアソシアリテイル事業撤収、清算手続きを開始
2021. 4	帝人フロンティアスタイル(株)を譲渡
2021. 4	帝人フロンティア(株)が東邦テキスタイル(株)を吸収合併
2021. 4	帝人加工糸(株)と新和合繊(株)を統合し、帝人フロンティアニッティング(株)が発足
2023. 6	インターネット通販ショップ「くらし＠サイエンス」を「テイジンモール」としてリニューアルオープン

●ポリエステル繊維事業（2017年4月の繊維・製品事業への統合まで）

1918. 6	帝国人造絹絲(株)設立　レーヨン事業を開始
1945. 8	帝人織布(株)（帝人加工糸(株)の前身）設立
1951.11	大聖寺精練(株)を子会社化（帝人ネステックス(株)の前身）
1955.11	松山工場（現松山事業所北地区）開業、アセテート事業を開始
1957. 1	帝人(株)、東レ(株)、英国ICI社のポリエステル繊維及びフィルム等、製造技術導入許可を取得
1957. 6	帝人(株)、東レ(株)、ポリエステル繊維の商標名を「テトロン」に決定
1957.12	三共毛織(株)（帝人テクロス(株)の前身）設立
1958. 6	松山工場、「テトロン」操業開始
1967. 9	タイの「テトロン」繊維生産販売会社Thai Tetoron Co., Ltd.（現Teijin Polyester（Thailand）Ltd.）設立
1968. 4	徳山工場、「テトロン」短繊維操業開始
1970.10	愛媛工場（現松山事業所南地区）、「テトロン」長繊維操業開始
1971.10	レーヨン事業から撤収
1973.10	インドネシアの「テトロン」繊維生産販売会社P.T. Teijin Indonesia Fiber Corp.設立
1976. 1	愛媛工場、「テトロン」短繊維操業開始
1991.10	タイの「テトロン」繊維生産販売会社Teijin (Thailand) Ltd.設立
1993.11	マンテロ・セタ社（イタリア）、伊藤忠商事と合弁で、ポリエステル長繊維織物の製造販売会社TMI Europe S.p.A.をイタリアに設立
1997. 1	PETボトルリサイクル繊維「エコペット」使用製品発売
1999. 1	繊維製品回収リサイクルシステム「エコサークル」を開始
1999. 4	メキシコのノバコープ社への50％資本参加によりAkra Teijin S.A. de C.V.設立
2000.11	米ジョンズ・マンビル社からモノフィラメント事業を買収し、Teijin Monofilament U.S., Inc.、Teijin Monofilament Germany GmbH設立
2001. 5	衣料用ポリエステル繊維事業改革案「テトロン・グローバル・ストラテジー（TGS）プラン」を策定
2001.11	帝人ネステックス(株)を設立
2002. 3	アセテート事業撤収
2002. 4	衣料用ポリエステル繊維事業を分社化し、帝人ファイバー(株)設立 徳山工場で原料リサイクル操業開始

2002. 5	旭化成(株)とポリトリメチレンテレフタレート繊維事業を行う合弁会社ソロテックス(株)設立
2002. 7	循環型社会を目指す「繊維 to 繊維」リサイクルを展開
2003.11	徳山工場で「ボトル to ボトル」リサイクル施設操業開始
2004. 5	「繊維 to 繊維」リサイクル施設を、徳山工場から松山事業所へ移転、操業開始
2005. 1	TMI Europe S.p.A事業撤収決定
2005. 3	Teijin Akra S.A. de C.V.事業撤退
2005.12	中国にカーシート用ファブリック製造販売会社を設立
2008. 7	高強度ポリエステルナノファイバー「ナノフロント」の商業生産開始
2008.12	高性能耐久制電素材「ビーウェル」の設備増強
2009. 8	「ポリエステル繊維事業の構造改革プラン」を発表
2009.12	住江織物(株)との合弁会社スミノエ テイジン テクノ(株)を設立
2010. 3	ソロテックス(株)の合弁契約を解消、清算手続き開始 Teijin Monofilanent U.S., Inc. 事業撤収 帝人ネステックス(株)事業撤収
2010. 4	インドネシアのP.T. Teijin Indonesia Fiber Tbk.を譲渡
2010. 6	Teijin Monofilament Germany GmbHを譲渡
2010.12	バイオ由来PET「PLANTPET」の本格展開発表
2012. 9	「帝人（中国）商品開発センター」設立
2012.10	帝人ファイバー(株)のアパレル事業を除く全ての事業を帝人(株)へ統合
2013. 2	ポリエステルのケミカルリサイクル事業の合弁会社浙江佳人新材料有限公司を設立
2017. 4	ポリエステル繊維事業を製品事業グループに統合し、繊維・製品事業グループが発足

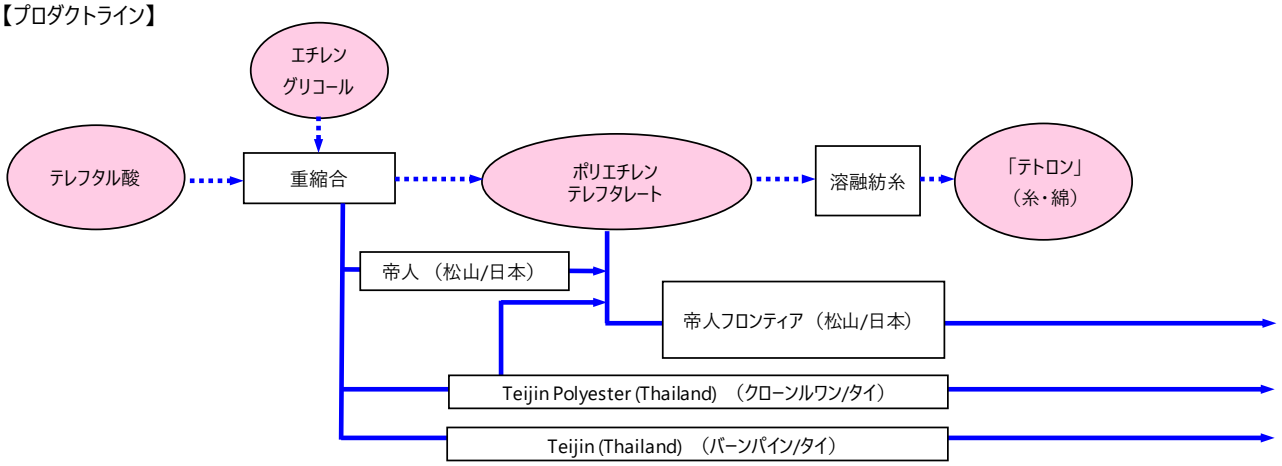
◆研究開発拠点

会社	所在地
帝人フロンティア(株)	日本　愛媛県松山市
	タイ　パトゥムターニー県 クローンルワン郡
帝人（中国）繊維商品開発有限公司	中国　江蘇省南通市

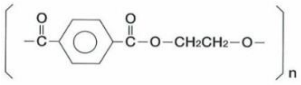
◆プロダクトライン・化学構造式

●ポリエステル繊維

【プロダクトライン】



【化学構造式】



◆製品の特性

製品	特性
「テトロン」	合成繊維の中では高い強度を持ち、線膨張係数および吸水率(公定水分率：0.4%)が小さく、寸法安定性に優れる。また、合成繊維の中では比較的融点(255～260℃）が高く、高温での加工・使用に耐える。化学的には、一般的な有機溶媒に不溶であり、アルカリ水溶液により繊維表面から、強度の低下を伴わず均一に分解されるという特性を持つ。発色に優れ、着用・洗濯を繰り返しても変色・色落ちが少ない。紫外線に強く、屋外で長時間使用しても強度劣化が少ない。 ポリエステル繊維は世界で最も生産されている合成繊維である。

◆主要製品の用途展開

分野	主要商品	用途例
衣料	「エコペット」、「ウェーブロン」、「ミノテック」、「トリクシオン」、「デルタ」、「オクタ」、「ソロテックス」、「カルキュロ」、「サンバーナー」	紳士、婦人ファッションウェア、スポーツウェア、ユニフォーム、インナーウェア、裏地
産業資材	「エコペット」、「ベルオアシス」、「ケミタック」、「テピルス」、「ナノフロント」、「エルク」、「V-LAP」、「ファイバークッション」、「涼しや」	カーテン、椅子張り、寝装具、オフィス用ファブリック、紙オムツ、ワイピング素材、自動車・列車・航空機用シート、自動車内装材、タイヤコード、ゴム補強材、シートベルト、マット、クッション、フィルター
ヘルスケア	「マトウス」、「ラフィナン」	スポーツ、ヘルスケア用品、ワーキング、インナー衣料
スマートセンシング	「レコピック」	書籍や物品の入出庫やロケーションの管理を、正確かつ効率的に支援するRFID*1棚管理システム。帝人が開発した２次元通信シート「セルフォーム」*2をアンテナシートとして活用し、物品に貼付したUHF帯のICタグの情報をリーダライタで読み込むことで、棚単位での個品管理を実現。

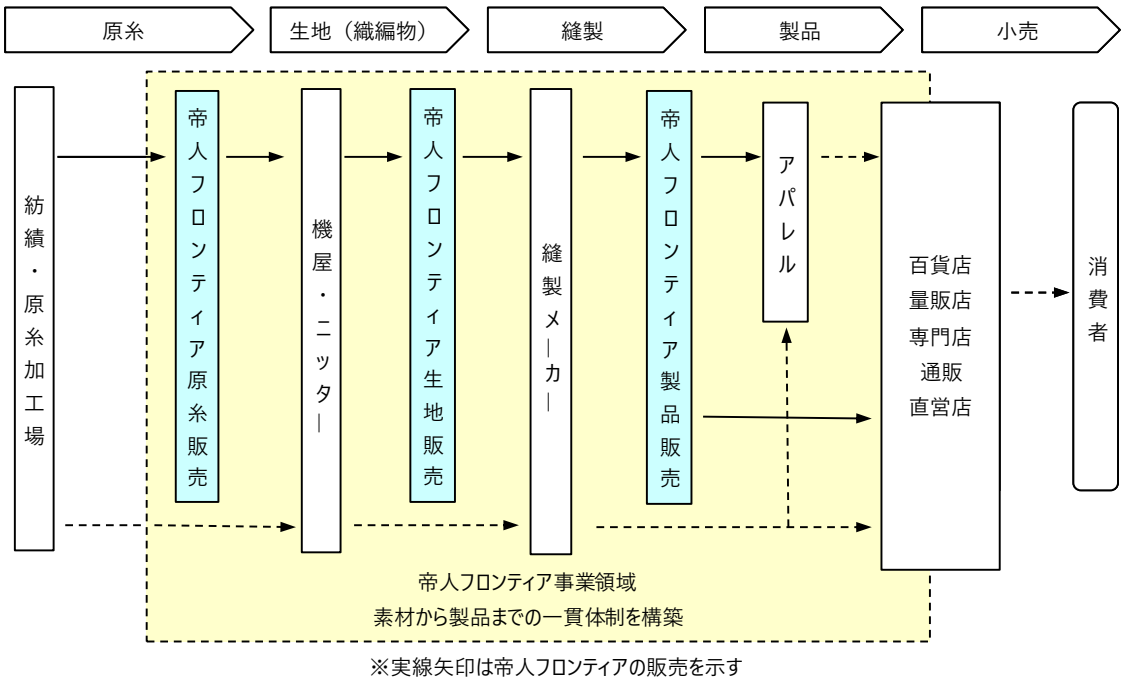
*1 Radio Frequency Identification（電波による個体識別）の略。電波の送受信により、非接触でICチップの中のデータを読み書きする技術。

*2 東京大学発のベンチャー企業である(株)セルクロスが開発した2次元通信技術「@CELL」と、帝人のシート製造技術を用いて開発した2次元通信シート。

◆商流概要

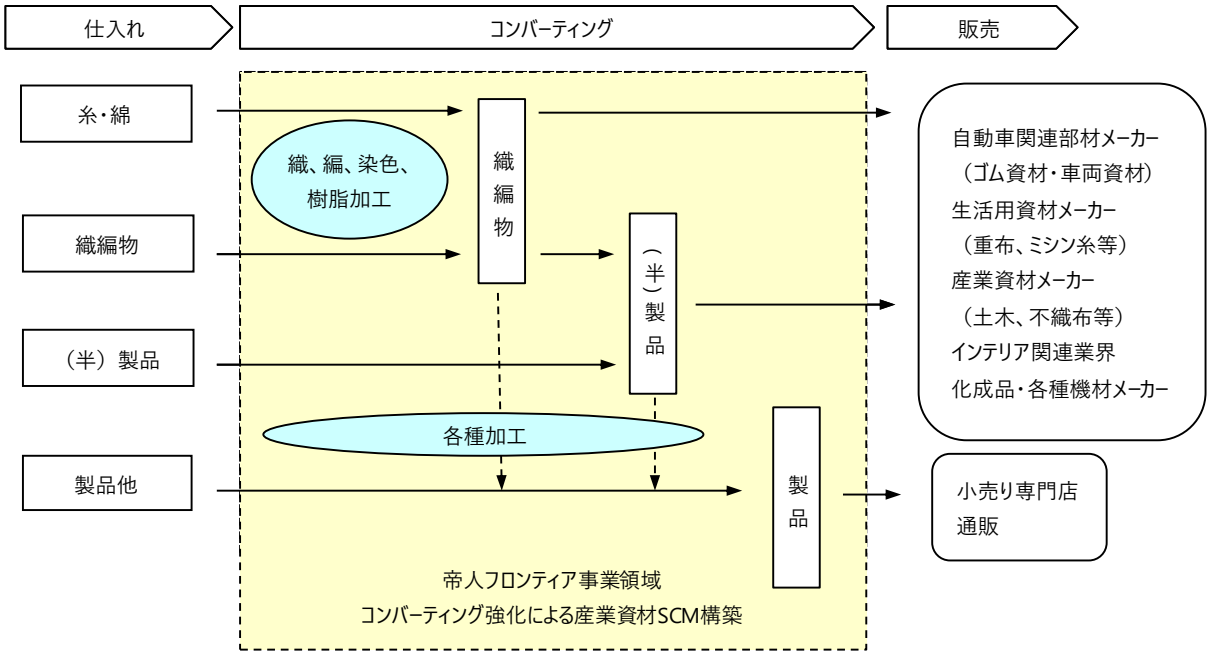
●帝人フロンティア

1. 衣料繊維分野



※実線矢印は帝人フロンティアの販売を示す

2. 産業資材分野

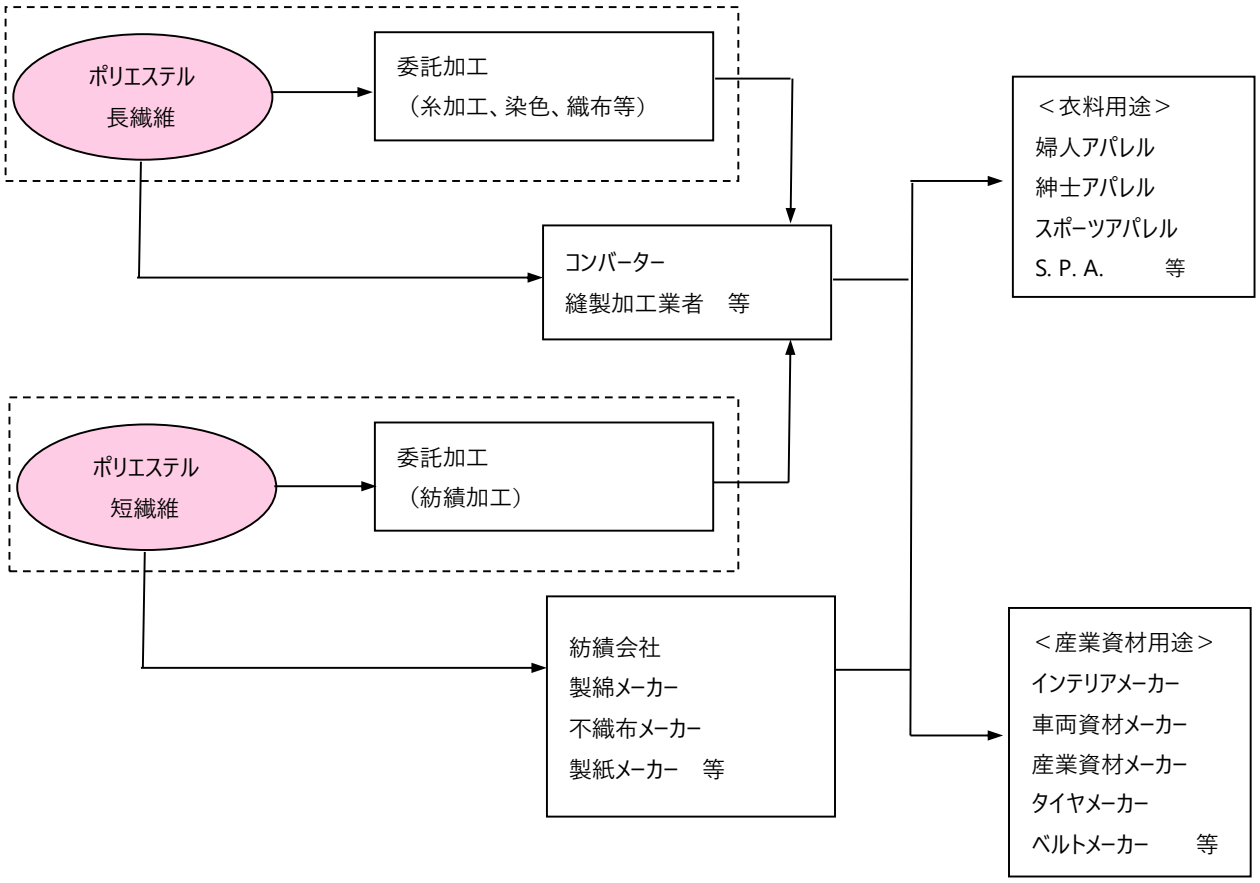


◆取扱い商品

分野	取扱い商品
衣料繊維分野	衣料用繊維原料、各種繊維素材、テキスタイル メンズ・レディス重衣料、カジュアル衣料 スポーツ衣料、子供服、インナー、ユニフォーム、雑貨、その他衣料
産業資材分野	工業繊維資材：　タイヤコード、Vベルト関連原料・織物、各種ホース補強織物、シートベルト・エアバッグ用織物等 産業繊維資材：　土木・建築・農水産関連、テント・重布関連、生活関連、フェルト関連、不織布関連、高機能繊維等 車両資材：　自動車内装資材、自動車向け用品等 生活資材　カーテン・壁装・カーペット等、寝装・生活関連機能製品、ヘルスケア関連製品、人工皮革等 化成品：　合成樹脂、各種フィルム、シート、梱包資材等 機材：　クリーンルーム機材、産業機械・装置等

◆販売形態

●ポリエステル繊維



ヘルスケアセグメント

◆主要構成会社

会社名	所在地	事業分野	持株比率
1. 帝人(株)ヘルスケア事業	日本　東京都	ヘルスケア事業領域における新規ビジネスの推進	－ %
2. 帝人ファーマ(株)	日本　東京都	医薬品・医療機器の製造・研究開発等	100 %
3. 帝人ヘルスケア(株)	日本　東京都	医薬品・医療機器等の情報提供、販売・レンタル、在宅医療サービス	100 %
4. 帝人訪問看護ステーション(株)	日本　東京都	訪問看護事業	100 %
5. Teijin America, Inc.	米国　カリフォルニア州	新薬の臨床開発・米州における情報収集と事業展開統轄	100 %
6. Esteve Teijin Healthcare S.L.	スペイン　カタルーニャ州	スペインにおける在宅医療サービス	50 %
7. Yuyu Teijin Medicare Inc.	韓国　ソウル特別市	韓国における在宅医療サービス	50 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。

◆年表

●医薬

1968. 5	帝人(株)未来事業本部内で探索を開始
1973. 8	独ベーリンガー・インゲルハイム社との合弁会社帝人フェーア・メディカル(株)設立
1974. 7	生物医学研究所（東京都日野市）設立
1974.10	化学及血清療法研究所と共同開発契約締結
1978. 3	帝人フェーア・メディカル(株)を発展的に解消、帝人医薬(株)設立
1978. 5	藤沢薬品工業(株)と販売提携を開始
1980. 2	重症感染症治療剤「ベニロン」、緩下薬「ラキソベロン」営業開始
1981. 1	骨粗鬆症治療剤「ワンアルファ」発売
1983.10	帝人(株)が帝人医薬(株)を吸収合併
1984. 3	徐放性気道潤滑去痰剤「ムコソルバン」発売
1994. 2	新薬理研究センター完成
1996.10	医薬品の全国自社販売開始
2000. 5	米国ニュージャージー州（現在はカリフォルニア州）のTeijin America Inc.に臨床開発拠点を設置
2001. 8	骨粗鬆症治療剤「ボナロン」発売
2003.10	持株会社制への移行に伴い、帝人(株)の医薬医療事業を帝人ファーマ(株)へ分社化
2009. 3	米国における痛風・高尿酸血症治療剤「Uloric」（フェブキソスタット）の販売開始
2010. 3	欧州における痛風・高尿酸血症治療剤「Adenuric」（フェブキソスタット）の販売開始
2011. 5	日本での痛風・高尿酸血症治療剤「フェブリク」（フェブキソスタット）の販売開始
2012. 5	日本初の点滴投与型骨粗鬆症治療剤「ボナロン」[*1]の販売開始
2013. 1	先端巨大症及び下垂体性巨人症治療剤「ソマチュリン」[*2]の販売開始
2013. 3	骨粗鬆症治療剤として世界初の経口ゼリー剤「ボナロン」[*1]の販売開始
2013. 7	米国アムジェン社と自己免疫疾患治療薬に関する共同研究契約、および開発・製造・販売に関するオプション契約を締結
2015. 7	徐放性気道潤滑去痰剤「ムコソルバン」の販売開始
2015. 9	ペプチドリーム社と、特殊環状ペプチドの創薬に関する共同研究開発契約を締結
2015.10	岩国事業所で融合製剤棟が稼働開始
2016. 1	経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」[*3]発売
2017. 5	米国メルク社に新規アルツハイマー病治療薬の候補化合物についての全世界における独占的開発・製造・販売権の独占的ライセンスを供与
2019. 5	日本初のADA酵素補充療法剤「レブコビ」[*4]の販売を開始
2019.10	医薬事業本部と在宅医療事業本部から成る2事業本部制から、「営業本部」と「研究開発技術本部」から成る機能本部制へと再編。医薬品の情報提供活動は、従来在宅医療機器などの営業・サービスを対応してきた帝人在宅医療株式会社に移管
2020. 4	帝人在宅医療株式会社を帝人ヘルスケア株式会社へ社名変更
2020.12	A型ボツリヌス毒素製剤「ゼオマイン」[*5]の販売を開始
2020.12	TransThera Biosciences社と新薬開発のための共同研究およびライセンスの契約を締結
2021. 2	2型糖尿病治療剤「ネシーナ」、「リオベル」、「イニシンク」、「ザファテック」の日本における販売移管、知的財産権実施許諾及び製造販売承認の承継に係る資産譲渡契約を締結

2021.10	地域に密着した医療サービスの提供を目指し、12支店75営業所から18支店129営業所へ体制を変更
2022. 2	米国メルク社にライセンス供与したアルツハイマー病治療薬の候補化合物についての臨床試験が開始
2023. 1	骨粗鬆症治療剤「オスタバロ」の販売を開始
2023.11	デンマークAscendis Pharma, A/Sと希少内分泌疾患のホルモン治療薬 3 剤の日本における研究・開発・製造・販売に関するライセンス契約を締結
2024. 4	仏Bioprojetに自社創製したナルコレプシー治療薬候補化合物についての全世界における独占的開発・製造・販売権のライセンスを供与
2024. 4	創薬研究支援サービスに関するアクセリード株式会社との合弁会社「Axcelead Tokyo West Partners」を設立

*1 「ボナロン」はNV Organon（オランダ）の登録商標です。
*2 「ソマチュリン」は Ipsen Pharma（フランス） の登録商標です。
*3 「ロコア」は大正製薬株式会社の登録商標です。
*4 「レブコビ」はリーディアント社（英国） の登録商標です。
*5 「ゼオマイン」は、Merz Pharma GmbH ＆Co. KGaA（ドイツ）の登録商標です。

●在宅医療（地域包括ケア含む）

1971. -	帝人(株)にて酸素富化膜の研究を開始
1982.10	在宅酸素療法（HOT）事業開始
1982.11	医療岩国製造所設立
1985. 3	在宅酸素療法が健康保険の適用を受ける
1993. 4	販売会社設立（以降1997年までに 6 販売会社を設立）
1997. 4	医療技術研究所設立
1998. 1	NPPV（マスク式人工呼吸器）事業開始
1998. 6	セーフス（超音波骨折治療器）事業開始
1999.10	訪問看護ステーションを大阪府に設立（現在、全国8ヵ所に開設）
2000. 6	CPAP（在宅持続陽圧呼吸療法）事業開始
2005. 3	旧藤沢薬品工業株式会社（現アステラス製薬株式会社）の在宅医療事業業務受託で合意
2006. 4	6 販売会社が合併し、帝人在宅医療(株)として営業を開始
2006.10	韓国Yuyu Pharma, Inc. と韓国における在宅医療の合弁会社Yuyu Teijin Medicare Inc. 設立
2008. 1	米国ニューヨーク州の在宅医療機器プロバイダー、Associated Healthcare Systems, Inc. の株式を取得し、連結子会社化
2008. 6	米国カリフォルニア州の在宅医療機器プロバイダー、Braden Partners L.P. の株式を取得し、完全子会社化
2009. 2	スペインの大手製薬会社Laboratorios del Dr.Esteve S.A. と共同で、呼吸器系在宅医療事業の欧州展開を統括する合弁会社Esteve Teijin Healthcare S.L. を設立
2010. 7	運転状況や異常発生を24時間モニタリングするシステム搭載の在宅医療用酸素濃縮装置「ハイサンソ 7R」のレンタル開始
2012. 3	汎用人工呼吸器（二相式気道陽圧ユニット）「NIPネーザル」のレンタル開始
2012. 4	日本初の携帯電話網による在宅医療診断支援システム「ネムリンク」を開発
2013. 1	携帯型の在宅医療用酸素濃縮装置「ハイサンソポータブル」のレンタル開始
2013. 4	歩行神経筋電気刺激装置「ウォークエイド」のレンタル開始
2014. 6	災害・停電時の不安・不便を解消する「サンソセーバー」、「ハイサンソ」のレンタル開始
2015. 2	二相式気道陽圧ユニット、「オートセットCS-A Type TJ」のレンタル開始
2015. 9	多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の販売開始
2016. 1	最新型の睡眠時無呼吸症候群（SAS）治療装置「スリープメイト」10のレンタル開始
2016.11	上肢麻痺のリハビリロボット、上肢用ロボット型運動訓練装置「ReoGo」を上市
2017. 4	米Braden Partners, L.P.、Associated Healthcare Systems, Inc.の所有持分全てを売却し、米国在宅医療事業から撤退
2019. 6	うつ病の経頭蓋治療用磁気刺激装置「NeuroStar」を上市
2019.10	医薬事業本部と在宅医療事業本部から成る2事業本部制から、「営業本部」と「研究開発技術本部」から成る機能本部制へと再編。医薬品の情報提供活動は、従来在宅医療機器などの営業・サービスを対応してきた帝人在宅医療株式会社に移管
2019.12	低流量から高流量まで幅広く対応する最新型酸素濃縮器「ハイサンソi」のレンタル開始
2020. 4	帝人在宅医療株式会社を帝人ヘルスケア株式会社へ社名変更
2020.10	訪問看護事業の本格展開に向けて帝人訪問看護ステーション(株)設立
2021. 9	訪問看護師向けのウェブメディア、「NsPace（ナースペース）」を開設
2021.10	地域に密着した医療サービスの提供を目指し、12支店75営業所から18支店129営業所へ体制を変更
2022.10	入退院調整業務支援サービスを提供する (株)3Sunnyの株式を取得し、完全子会社化
2023. 7	小型・軽量の携帯型酸素濃縮装置の新機種「ハイサンソポータブルαIII」のレンタルを開始
2024. 5	株式会社ジェイ・エム・エスと腹膜透析を主とする在宅腎不全治療に特化した合弁会社設立の契約を締結

◆事業拠点

営業拠点	所在地	営業所数
1. 北海道支店	北海道　札幌市	4
2. 東北支店	宮城県　仙台市	8
3. 北関東支店	群馬県　高崎市	6
4. 甲信越支店	新潟県　新潟市	5
5. 埼玉支店	埼玉県　さいたま市	5
6. 千葉支店	千葉県　千葉市	5
7. 東京第一支店	東京都　文京区	7
8. 東京第二支店	東京都　文京区	7
9. 神奈川支店	神奈川県　横浜市	8
10. 東海第一支店	愛知県　名古屋市	5
11. 東海第二支店	愛知県　名古屋市	8
12. 京滋・北陸支店	京都府　京都市	8
13. 関西第一支店	大阪府　大阪市	10
14. 関西第二支店	大阪府　大阪市	9
15. 中国支店	広島県　広島市	9
16. 四国支店	愛媛県　松山市	5
17. 九州第一支店	福岡県　福岡市	9
18. 九州第二支店	熊本県　熊本市	6
	合計数	124

配送センター	所在地
1. 東京配送センター	埼玉県　八潮市
2. 大阪配送センター	大阪府　茨木市

訪問看護ステーション	所在地
1. 望星台訪問看護ステーション厚木	神奈川県　厚木市
2. 帝人訪問看護ステーション大和	神奈川県　大和市
3. 泉訪問看護ステーション	愛知県　名古屋市
4. 喜志訪問看護ステーション	大阪府　富田林市
5. 帝人訪問看護ステーションさかい	大阪府　堺市
6. 幟町訪問看護ステーション	広島県　広島市
7. 帝人訪問看護ステーション古江	広島県　広島市
8. 博多みずほ訪問看護ステーション	福岡県　福岡市

サービスセンター	所在地
在宅医療技術サービスセンター	岐阜県　安八郡

◆製造拠点

組織	所在地
帝人ファーマ(株)	山口県　岩国市
帝人医療器械（上海）有限公司	中国　上海市

◆研究開発拠点

組織	所在地
帝人ファーマ(株)	東京都　日野市 山口県　岩国市
Teijin America, Inc.	米国　カリフォルニア州 マリン郡

◆主要医薬品　品目別売上高の推移

（億円）

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
フェブリク®	55	114	155	213	265	307	358	386	356	388	145	74
ネシーナ®	-	-	-	-	-	-	-	-	-	131	122	111
イニシンク®	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	74	69
リオベル®	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	34	28
ザファテック®	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	17	20
ボナロン®[*1]	159	142	129	129	116	109	100	94	83	78	69	63
ソマチュリン®[*2]	1	6	11	15	17	25	37	47	52	54	57	61
ベニロン®	99	94	98	44	47	51	53	62	50	46	44	55
ムコソルバン®	90	79	65	67	58	51	41	34	22	22	18	19
ロコア®[*3]	-	-	-	-	10	18	20	21	21	20	18	18
ワンアルファ®	79	66	54	49	37	31	17	15	10	11	8	6
ゼオマイン®[*4]	-	-	-	-	-	-	-	-	0	10	18	20
レブコビ®[*5]	-	-	-	-	-	-	-	3	4	4	4	6
オスタバロ®	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11
オルベスコ®	13	13	12	12	12	12	11	12	11	9	9	8
ラキソベロン®	40	36	29	25	20	17	13	11	8	8	7	6
ボンアルファ®	14	13	11	9	8	6	5	4	4	3	3	3
スピロペント®	9	8	7	7	6	5	4	4	3	3	2	2

*1　ボナロン®はNV Organon（オランダ）の登録商標です。
*2　ソマチュリン® は Ipsen Pharma（フランス） の登録商標です。
*3　ロコア®は大正製薬株式会社の登録商標です。
*4　ゼオマイン®は、Merz Pharma GmbH ＆Co, KGaA（ドイツ）の登録商標です。
*5　レブコビ® はリーディアント社（英国） の登録商標です。

◆主要既存薬の概況

疾患分野	商標	薬効	特徴	剤型	備考	上市時期	海外販売地域	海外販売会社
骨・関節領域	ワンアルファ®	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症患者の骨代謝を改善し、骨折抑制のエビデンスを持った活性型ビタミンD3製剤。製剤的には患者にとって服用しやすい小型の錠剤を開発。	錠剤、液剤	自社開発	1981年	韓国 中国 パキスタン エジプト、イエメン、スーダン、イラク	Ilsung Pharmaceuticals Co., Ltd. SUZUKEN (SHENZHEN) PHARMACEUTICAL Co., LTD. Martin Dow Limited Minapharm Pharmaceuticals
	ロコア® *2	経皮吸収型鎮痛消炎剤	変形性関節症に対し炎症、痛みを抑えるテープ剤。エスフルルビプロフェンとハッカ油を有効成分とする製剤で、COX活性を強力に阻害し作用を示す。また、基剤を工夫することによって経皮吸収性を高め、より標的組織への移行性を高めたNSAIDsテープ剤である。膏体の特性とともに、伸縮性と程よい保定効果を有する支持体を採用することによって、関節などの可動部への貼付や有毛部での連続貼付も可能なNSAIDs貼付剤である。	貼付剤	導入： 大正製薬（株）	2016年	-	-
	オスタバロ®	骨粗鬆症治療剤	骨折の危険性の高い骨粗鬆症を適応症とした自己注射製剤。ヒト副甲状腺ホルモン関連タンパク質のN末端から34個のアミノ酸配列のうち一部を改変したポリペプチドであるアバロパラチド酢酸塩を有効成分とする。アバロパラチド酢酸塩は、骨代謝に関わる副甲状腺ホルモン1型受容体のうちRG型を選択的に刺激する特徴を持ち、骨吸収作用に対して骨形成作用がより優位な新規の骨形成促進剤である。専用の電動式注入器「オスタバロインジェクター」を用いて患者さん本人が1日1回皮下注射し、18ヵ月間までの投与が可能。	水性注射剤剤（カートリッジ剤）	導入： 仏イプセン社/米ラディウス社	2023年	-	-

事業基礎情報　ヘルスケアセグメント

疾患分野	商標	薬効		剤型	備考	上市時期	海外販売地域	海外販売会社
骨・関節領域	ゼオマイン®[*3]	上肢痙縮・下肢痙縮治療薬	末梢のコリン作動性神経終末に作用し、神経伝達物質であるアセチルコリンの放出を阻害することで随意筋の筋力を弱め、筋緊張状態を緩和するA型ボツリヌス毒素注射剤。ボツリヌス菌（Clostridium botulinum）により産生されるA型ボツリヌス毒素から、メルツ社が開発した精製技術で複合タンパク質を取り除くことにより、神経毒素のみを有効成分としていることにより、中和抗体が産生されることによる効果減弱の可能性の低下が期待される。	注射剤	導入： 独メルツ社	2020年	-	-
呼吸器領域	ムコソルバン®	去痰剤	サーファクタント（肺表面活性物質）等の気道液の分泌を促進することで、痰の性状を選ばず痰の喀出を促す。また剤型も豊富で、「ムコソルバン錠45㎎」をはじめ、1日1回の服用を可能にした徐放剤の「ムコソルバンL錠」等7剤型を取り揃えている。	錠剤、L錠、液剤、シロップ、ドライシロップ（2規格）	導入： 仏サノフィ社	1984年	-	-
	オルベスコ®	喘息治療剤	成人用として日本初となる1日1回投与の 吸入ステロイド剤であり、服用コンプライアンスの向上が期待される。肺で活性化される局所活性化型の 吸入ステロイド剤であり、口腔咽頭部の副作用軽減が期待される。また、2011年4月には小児の患者に使いやすい少容量新規格「オルベスコ 100μgインヘラー56吸入用」も発売し、服薬利便性をさらに高めている。	エアゾール剤	導入： 蘭コービス社	2007年	-	-

疾患分野	商標	薬効	特徴	剤型	備考	上市時期	海外販売地域	海外販売会社
代謝・循環器領域	フェブリク®	高尿酸血症・痛風治療剤	プリン骨格を持たない新しい尿酸生成抑制剤。1日1回服用で血清尿酸値を治療目標値まで低下させ、維持することが期待される。軽度・中等度の腎機能低下がある場合にも用量調節の必要がなく、多くの患者に使用できると期待される。	錠剤	自社開発	2011年	北米 欧州 韓国 アジア 中東・北アフリカ 中南米・CIS・オセアニア イスラエル	武田USA / ユーロファーマ社 メナリーニ社/仏イプセン社 SKケミカル社 アステラス社 アルゴリズム社 メナリーニ社 ネオファーム社
	ソマチュリン®[*4]	先端巨大症及び下垂体性巨人症治療剤 膵・消化管神経内分泌腫瘍 甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍	先端巨大症及び下垂体性巨人症における過剰な成長ホルモンの分泌を抑制する薬剤。 長期にわたり効果が持続するため、4週間に1度の投与で治療が可能となることや、簡単な操作で投与できるデバイスの利便性によって、患者の服薬コンプライアンスの向上が期待される。	注射	導入： 仏イプセン社	2013年	-	-
	レブコビ®[*5]	アデノシンデアミナーゼ欠損症の治療剤	ポリエチレングリコールで化学修飾した大腸菌由来の遺伝子組換えウシ ADA 類縁体（PEG-rADA）の筋注製剤。アデノシンデアミナーゼ欠損症に対して適応を持つ日本初の薬剤である。本剤は厚生労働省から希少疾病医薬品として指定されている。	注射	導入： 英リーディアント社	2019年	-	-
	イニシンク®	2型糖尿病治療剤	ジペプチジルペプチダーゼ-4（DPP-4）阻害薬であるアログリプチン安息香酸塩とビグアナイド系薬であるメトホルミン塩酸塩との配合剤。アログリプチン安息香酸塩とメトホルミン塩酸塩を配合錠にすることによって、各単剤による併用療法から服用回数及び薬剤の錠数を減少させ、アドヒアランスを向上させること、並びに長期にわたる血糖コントロールが期待される。	錠剤	導入： 武田薬品工業(株)	2021年 （販売移管時期）	-	-
	ザファテック®	2型糖尿病治療剤	選択的ジペプチジルペプチダーゼ-4（DPP-4）阻害薬（トレラグリプチンコハク酸塩）。グルカゴン様ペプチド-1（GLP-1）濃度上昇を介した血糖依存性のインスリン分泌促進作用を有する。週1回投与による服薬回数の減少により良好な服薬アドヒアランスが期待できる。	錠剤	導入： 武田薬品工業(株)	2021年 （販売移管時期）	-	-

事業基礎情報　ヘルスケアセグメント

疾患分野	商標	薬効	特徴	剤型	備考	上市時期	海外販売地域	海外販売会社
代謝・循環器領域	ネシーナ®	2型糖尿病治療剤	選択的ジペプチジルペプチダーゼ-4（DPP-4）阻害薬（アログリプチン安息香酸塩）。糖濃度依存的に膵臓からのインスリン分泌を促進させる作用を有するグルカゴン様ペプチド-1（GLP-1）の分解を抑制することにより血糖降下作用を示す。1日1回の経口投与で優れた血糖改善作用を示す。	錠剤	導入： 武田薬品工業(株)	2021年 （販売移管時期）	-	-
	リオベル®	2型糖尿病治療剤	ジペプチジルペプチダーゼ-4（DPP-4）阻害薬であるアログリプチン安息香酸塩とインスリン抵抗性改善剤であるピオグリタゾン塩酸塩との配合剤。アログリプチン安息香酸塩とピオグリタゾン塩酸塩を配合錠にすることにより、各単剤による併用療法と比べ服用する薬剤の錠数を減少させることが期待される。	錠剤	導入： 武田薬品工業(株)	2021年 （販売移管時期）	-	-
その他	献血ベニロン®-Ⅰ	重症感染症や川崎病等の治療剤	初めての国産技術で開発された、完全分子型の静注用人免疫グロブリン製剤。国内献血由来の血漿を原料としており、室温保存が可能な免疫グロブリン製剤。	注射	共同開発： KMバイオロジクス(株)	1980年	-	-
	ラキソベロン®	緩下剤・大腸検査前処置薬	各種便秘症に対して、大腸の蠕動運動を亢進させ、かつ便を軟便化させる。液剤では、患者にあった用量調節が可能であり、また大腸検査前処置としての適応も有している。	液剤、錠剤	導入： 仏サノフィ社	1980年	-	-

*1　ボナロン®はNV Organon（オランダ）の登録商標です。
*2　ロコア®は大正製薬株式会社の登録商標です。
*3　ゼオマイン®は、Merz Pharma GmbH ＆Co. KGaA（ドイツ）の登録商標です。
*4　ソマチュリン® は Ipsen Pharma（フランス） の登録商標です。
*5　レブコビ® はリーディアント社（英国） の登録商標です。

◆主要開発品の概況

疾患分野	開発コード （一般名）	薬効	特徴	剤型	備考	開発段階
骨・関節領域	TCK-276	関節リウマチ	関節リウマチに特徴的なパンヌスを構成する主要細胞である滑膜線維芽細胞に直接作用して過剰な増殖を抑制することで、抗リウマチ効果を発揮する新たなクラスの経口治療薬。	錠剤	自社開発	Phase Ⅰ
その他	NT 201S （インコボツリヌストキシンA）	慢性流涎症	A1型ボツリヌス毒素活性本体による唾液分泌抑制作用により、慢性的に唾液が口腔外に流れ出る症状の改善が期待される。	注射剤	導入：独メルツ社 ゼオマインの適応拡大として開発中	承認申請中
その他	NT 201C （インコボツリヌストキシンA）	痙性斜頸	A1型ボツリヌス毒素活性本体による筋弛緩作用により、首や肩の周囲の筋肉の異常な収縮の緩和が期待される。	注射剤	導入：独メルツ社 ゼオマインの適応拡大として開発中	Phase Ⅲ
その他	NT 201B （インコボツリヌストキシンA）	眼瞼痙攣	A1型ボツリヌス毒素活性本体による筋弛緩作用により、開瞼に関与する瞼裂周囲の筋肉の異常な収縮の緩和が期待される。	注射剤	導入：独メルツ社 ゼオマインの適応拡大として開発中	Phase Ⅲ
骨・関節領域	ACP-015	軟骨無形成症	C 型ナトリウム利尿ペプチド(CNP) を 長時間作用させることで、投与頻度を週一回に低減し、小児患者の軟骨無形成症治療の負担軽減が期待される。	注射剤	導入：デンマーク Ascendis Pharma, A/S	Phase Ⅲ準備中
その他	ACP-014	副甲状腺機能低下症	副甲状腺ホルモン(PTH)を長時間作用させることで副甲状腺機能低下による身体的・認知的症状の改善が期待される。	注射剤	導入：デンマーク Ascendis Pharma, A/S	承認申請準備中
その他	ACP-011/ ACP-011A	成長ホルモン分泌不全性低身長症/ 成人成長ホルモン分泌不全症	ヒト成長ホルモン hGH を長時間作用させることで、週一回投与による成長ホルモン分泌不全性低身長症及び成人成長ホルモン分泌不全症の治療が期待される。	注射剤	導入：デンマーク Ascendis Pharma, A/S	Phase Ⅲ/ PhaseⅢ

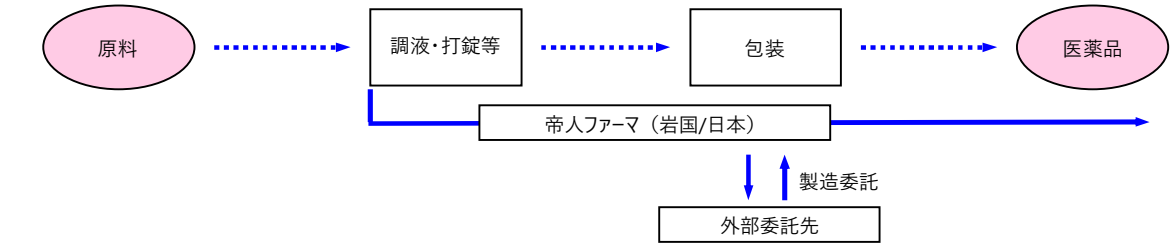
◆在宅医療　主要製品

分類	機種	特徴	製品ラインナップ
在宅酸素療法関連機器	酸素濃縮装置	空気を取り込み、空気から窒素を取り除いて、21%の酸素を90%に濃縮する装置。慢性呼吸不全患者等が自宅で酸素吸入を行う在宅酸素療法（HOT=Home Oxygen therapy）に使用	「ハイサンソ」シリーズ 「マイルドサンソ」シリーズ
	呼吸同調式レギュレータ	通院等外出時に使用する携帯酸素ボンベの使用時間を長くするために、呼吸に同調させ息を吸った時だけ酸素を送り出す装置	「サンソセーバー」シリーズ
	携帯用軽量酸素ボンベ	外出時、停電時等に使用する酸素ボンベ	「ウルトレッサ」/「ライトテック」/Luxfer社製酸素ボンベ
補助換気療法機器	二相式気道陽圧ユニット	二相の圧（吸気圧、呼気圧）を供給することで、慢性呼吸器疾患患者や心不全患者の呼吸、循環動態を改善する装置	「オートセットCS-A」「レスメドAirCurve 10」
		慢性呼吸不全患者のうち、低酸素血症に加えて高二酸化炭素血症をともなう患者に気管切開をせずマスクを介して換気を補助するNPPV療法用機器	「NIPネーザル」シリーズ
睡眠時呼吸障害関連機器	持続的自動気道陽圧ユニット（CPAP装置）	睡眠時無呼吸症候群（SAS)治療器 マスクを介し気道内に陽圧をかけ、気道の閉塞を防ぐことにより、無呼吸を抑制する装置。 CPAP療法に必要な送気圧力を機器が自動的に調整する装置	「スリープメイト」シリーズ 「ドリームステーション」シリーズ
	睡眠評価装置（睡眠ポリグラフィー測定記録・解析装置）	脳波、眼球運動、心電図、呼吸などの複数のセンサーを用いて、睡眠と呼吸の状態を記録する装置	PSG-1100 NoxA1sシステム スリーププロファイラーPSG2
	睡眠評価装置(携帯用睡眠時無呼吸検査装置）	睡眠中の呼吸やいびきなど呼吸状態を記録する持ち運びが可能な小型の睡眠時無呼吸検査装置	SAS-2200
超音波骨折治療法関連機器	超音波骨折治療器	断続的（パルス状）超音波の音圧による機械的刺激を骨折部位に与え、骨癒合を促進する骨折治療器	「セーフス」シリーズ
うつ病治療機器	経頭蓋治療用磁気刺激装置	パルス磁場によって渦電流を誘導し皮質ニューロンを刺激することで、非侵襲的に皮質や皮質下の活動を変化させる装置	「NeuroStar TMS」治療装置
データ管理システム（遠隔モニタリング対応）	CPAPデータ管理システム	CPAPデータやSAS診療に必要な情報を一元管理し、効率の良いCPAP診療をサポートするネットワークシステム	「ネムリンク」
	HOTデータマネジメントシステム	酸素濃縮装置の使用データや、パルスオキシメータで測定したSPO2・脈拍の数値をWeb上で閲覧するシステム	「HOT見守り番Web」
地域包括ケア関連	医療・介護多職種連携情報共有システム	医療介護の多職種間で、パソコンやスマートフォン、タブレットを用いて、患者の情報を共有するシステム	「バイタルリンク」

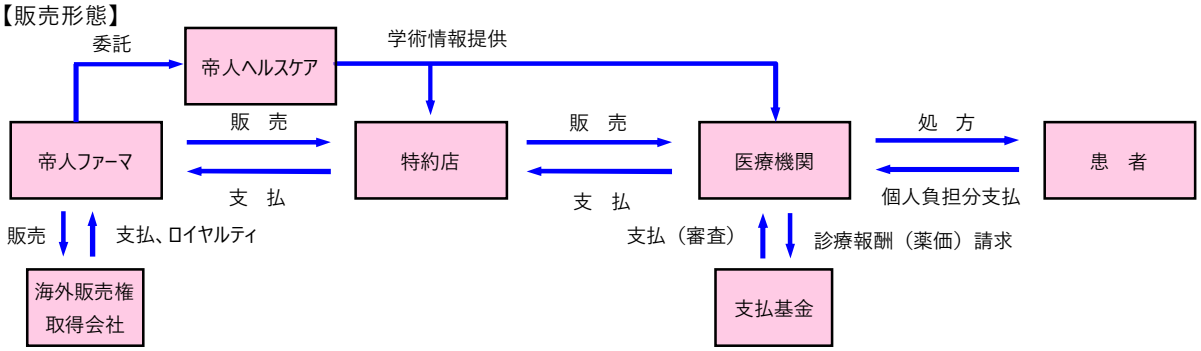
◆プロダクトライン・販売形態

●医薬

【プロダクトライン】

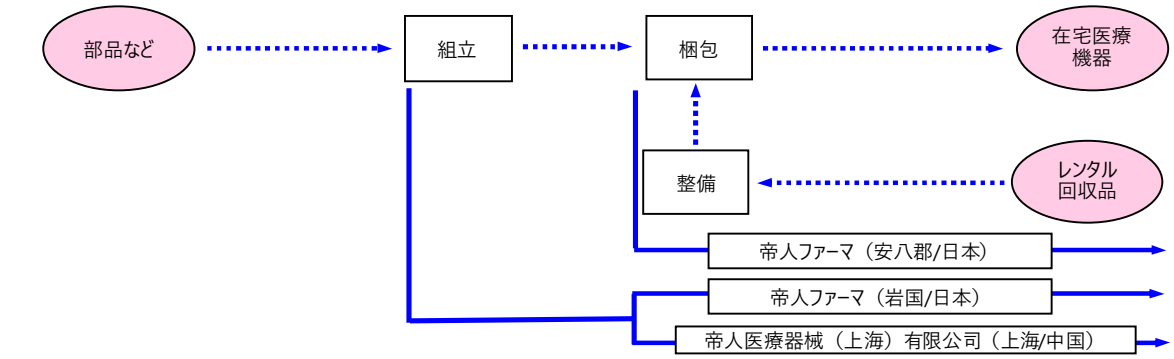


【販売形態】

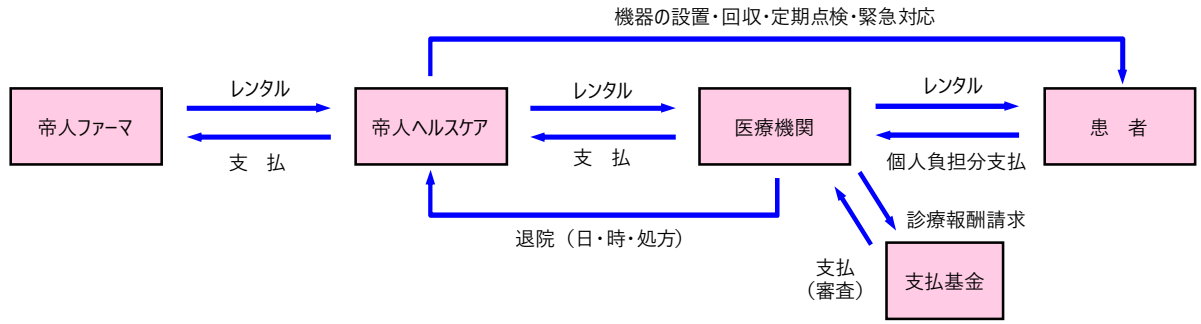


●在宅医療

【プロダクトライン】



【販売形態】



その他セグメント　コーポレート新事業

◆主要構成会社

会社名	所在地	事業分野	持株比率
1. 帝人(株)	日本　東京都	新規事業開発戦略/計画の立案と実行、支援	－ %
2. 帝人エージェンシー(株)	日本　大阪府	印刷物、販促物品の企画製作、広告代理業、保険代理業	100 %
3. 東邦化工建設(株)	日本　静岡県	環境分析、公害防止、環境保全設備の製作等のエンジニアリング事業	100 %
4. 東邦機械工業(株)	日本　徳島県	各種機械装置等の設計、製作および販売	100 %
5. 帝人エンジニアリング(株)	日本　大阪府	機械・エンジニアリング事業等	100 %
6. 帝人エコ・サイエンス(株)	日本　東京都	環境アセスメント、環境分析および測定	100 %
7. 帝人ナカシマメディカル(株)	日本　岡山県	人工関節、脊椎固定システム等の医療機器の開発、製造、販売	50 %
8. 帝人メディカルテクノロジー(株)	日本　大阪府	生体内分解吸収性骨接合材等の医療機器の開発、製造、販売	100 %
9. (株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング*1	日本　愛知県	再生医療等製品及び関連製品の開発・製造・販売・受託	57.7 %
10. NOMON(株)	日本　東京都	ニュートラシューティカル製品の販売とそれに関連する事業全般	100 %
11. (株)帝人目黒研究所	日本　大阪府	医薬品・健康食品原料、飼料添加物等の製造販売および輸出、ならびに受託培養	100 %
12. Teijin Lielsort Korea Co., Ltd.	韓国　忠清南道	リチウムイオン2次電池用セパレータの製造・販売	100 %
13. (株)RePEaT	日本　東京都	ポリエステル製品を原料としたケミカルリサイクル技術の国内外へのライセンス事業	45 %
14. 帝人リジェネット(株)	日本　東京都	再生医療等製品の開発コンサルティングおよび製品仕様の設計・製法開発の受託、ならびに臨床研究用製品・治験製品・再生医療等製品の製造受託	100 %

※持株比率（2024年3月末時点）は、帝人(株)の直接所有及び間接所有を合計して表示している。
*1 東京証券取引所グロース上場会社

◆年表

●再生医療・埋込医療機器

2008. 4	岩国事業所内に、「先端技術開発センター」開設
2009. 7	探索研究の技術を融合する研究所として、「融合技術研究所」を開設
2010. 4	医療材料の開発研究・事業化を目指す新たな組織「IMM推進班」を設立
2015. 4	人工関節事業を展開する帝人ナカシマメディカル(株)設立
2017. 7	骨接合材事業を展開する帝人メディカルテクノロジー(株)設立
2017.10	帝人ナカシマメディカル(株)、センチュリーメディカル(株)の脊椎事業を買収
2021. 3	(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリングの普通株式を公開買付けし子会社化
2022. 2	帝人ナカシマメディカル(株)、大塚グループのKiSCO(株)の脊椎および外傷（骨折）事業を買収
2022. 9	革新的治療創出を目指した「再生医療プラットフォーム」を千葉県柏の葉に構築
2023. 3	「心・血管修復パッチ」の製造販売承認を申請
2023. 3	再生医療等製品の開発・製造に用いる原材料供給合意による再生医療 CDMO 事業の強化
2023. 4	(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリングとともにResilience US, Inc との再生医療 CDMO の国際的な業務提携に合意
2023. 7	心・血管修復パッチ「シンフォリウム」が 製造販売承認を取得
2023. 8	再生医療CDMO事業展開・拡大に向け、帝人リジェネット(株)設立
2024. 2	帝人リジェネット(株)、再生医療CDMO拠点「柏の葉ファシリティ」稼働開始
2024. 6	帝人メディカルテクノロジー(株)、心・血管修復パッチ「シンフォリウム」の販売開始

●電池部材・メンブレン

2011.10	韓国にセパレータ事業会社設立（現 Teijin Lielsort Korea Co., Ltd.）
2012. 7	自社開発のセパレータ「LIELSORT（リエルソート）」の生産開始
2014.12	Teijin Lielsort Korea Co., Ltd.において「LIELSORT（リエルソート）」の第2系列が稼働開始
2015. 7	高機能メンブレン「MIRAIM（ミライム）」本格展開開始
2018. 2	高機能メンブレン「MIRAIM（ミライム）」の量産設備を新設
2018. 2	Teijin Lielsort Korea Co., Ltd.において「LIELSORT（リエルソート）」の第3系列の稼働開始を決定
2019.11	車載用リチウムイオン二次電池に使用される溶剤系コーティングセパレータの製造に関する技術ライセンス契約を上海エナジー社と締結
2020.12	リチウムイオン二次電池に使用される溶剤系コーティングセパレータの製造に関する包括的ライセンス契約を上海エナジー社と締結
2022. 3	Teijin Lielsort Korea Co., Ltd.においてカーボンニュートラルに向けた取り組みを開始

●ビオリエ・ニュートラシューティカル

2013. 1	新事業開発推進グループ内に「提携推進部」を新設（素材関連分野においてM&Aや提携をグローバルに企画・探索・推進）
2013. 1	米国イン・キューブ・ラボとの提携を開始
2016. 7	スーパー大麦「バーリーマックス」の販売を開始
2018. 8	発酵性食物繊維「イヌリア」の販売を開始
2019. 5	ニュートラシューティカル製品の販売会社であるNOMON(株)を設立
2020. 1	プロバイオティクス素材の販売を開始
2020. 9	「イヌリア」使用商品の機能性表示食品の届出が受理
2021. 3	国内初、膣内の調子を整える機能性表示食品サプリを発売
2021. 7	善玉菌サプリメントの新ブランド「melito（ミライト）」を立ち上げ。乳酸菌「UREX」[*1]、「LGG」[*1]、ビフィズス菌「BB-12」[*2]の販売を開始
2022. 6	スーパー大麦「バーリーマックス」の欧州での販売を開始
2022.10	機能性食品素材事業におけるプロバイオティクス製品の開発・製造の拠点として「帝人目黒研究所」を発足
2024. 3	新規プロバイオティクス素材「ASTARTE（アスタルテ）」*[2]の販売を開始
2024. 4	(株)帝人目黒研究所、2023年12月に事業譲渡契約を締結した天野エンザイム(株)の乳酸菌事業等の製品の販売を開始

*1「UREX」、「LGG」はChr. Hansen Holding A/S（デンマーク）の登録商標です。
*2「BB-12」、「ASTARTE」はChr. Hansen Holding A/S（デンマーク）の商標です。

●環境ソリューション

2018. 3	「AFRW（Advanced Fiber Reinforced Wood）*[3]」が「ジャパン・レジリエンス・アワード」最優秀賞を受賞
2018. 9	「AFRW」を使用した世界初の建築物を建設
2019.11	「AFRW」使用の建築物が「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」で受賞
2020.12	高機能繊維と木材とのハイブリッド素材「LIVELY WOOD」ブランドでの展開開始
2021. 1	「欧州サステナブル先端技術開発センター（ESTIC）」をオランダのアーネムに新設
2021. 2	水素燃料電池の販売代理契約を締結
2021. 9	高機能繊維と木材のハイブリッド素材を使用した移設可能な建築物「LIVELY VILLA」ブランドの展開を開始
2022.10	東急建設(株)と水素燃料電池を活用した実証実験を実施
2022.12	ポリエステルのケミカルリサイクル技術のライセンスを目的とした合弁事業会社（(株) RePEaT）の設立
2023. 1	帝人㈱と富士通(株)、自転車フレームに用いられるリサイクル炭素繊維の「資源循環における環境価値化実証プロジェクト」を開始
2023. 2	(株)RePEaT、浙江建信佳人新材料有限公司とのポリエステルのケミカルリサイクル技術に関するライセンス契約締結
2023. 3	新たな燃料電池ユニットと圧力容器ユニットを開発
2023. 3	燃料電池の小型化や高性能化に貢献できる、業界最薄クラスのガス拡散層を開発
2023. 9	NEDOバイオものづくり革命推進事業に採択「未利用原料から有用化学品を産み出すバイオアップサイクリング技術の開発」

*3 高機能繊維を使用した木造建築物用集成材

◆生産拠点

会社	所在地
帝人ナカシマメディカル(株)	日本　岡山県岡山市
帝人メディカルテクノロジー(株)	日本　兵庫県姫路市 山口県岩国市
(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング	日本　愛知県蒲郡市
(株)帝人目黒研究所	日本　兵庫県加西市
帝人㈱	日本　愛媛県松山市
Teijin Lielsort Korea Co., Ltd.	韓国　忠清南道アサン市
帝人リジェネット(株)	日本　千葉県柏市 山口県岩国市

◆研究開発拠点

会社	所在地
帝人(株)	日本　東京都日野市 山口県岩国市 愛媛県松山市 オランダ　ヘルダーラント州アーネム
帝人ナカシマメディカル(株)	日本　岡山県岡山市
帝人メディカルテクノロジー(株)	日本　岡山県岡山市
(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング	日本　愛知県蒲郡市

◆製品概要、プロダクトライン、販売形態

●再生医療・埋込医療機器

【製品概要】

機種/素材	保険適用	特徴	製品ラインナップ	販売会社
人工関節	○	変形性関節症や関節リウマチ等により変形もしくは破壊された関節に本来の機能を再獲得させる目的で使用する人工材料。変形部位を人工関節に置換することで痛みが除去され、日常生活での活動性および生活の質の向上に繋がることが期待される。使用部位：膝・股・肩・肘・足・指など。	【股関節】UNIVERSIA、GS-Taper 、VLIAN 【膝関節】Future Knee、FINE	帝人ナカシマメディカル㈱
脊椎固定システム	○	脊椎すべり症や椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患に対して、神経の圧迫を取り除いた後に脊椎を適切な形に整復し、固定する目的で使用される医療機器。	Saccura、UNIOS PLスペーサー	帝人ナカシマメディカル㈱
生体内分解吸収性骨接合材	○	ポリ-L-乳酸と非焼成のハイドロキシアパタイト(u-HA)の複合体からなる、生体活性を有する高強度の生体内分解吸収性骨接合材料。骨の固定を行うための体内に埋め込む医療機器で、スクリュー、プレート、髄内釘等。整形外科、口腔外科、形成外科、脳外科、胸部外科等の幅広い分野で使用される。生体内分解吸収性骨接合材は、生体内で分解・吸収される性質をもった骨接合材で、抜去のための再手術が不要となる。	スーパーフィクソーブEX、スーパーフィクソーブMX、オステオトランス・プラス、スレッドタイト インターフェランススクリュー、GRタックピン	帝人メディカルテクノロジー㈱
合成心血管パッチ	○	生分解性合成高分子のポリL-乳酸（PLLA）糸と非生分解性合成高分子のポリエチレンテレフタレート（PET）糸からなる編物を架橋ゼラチン膜で覆い、これらを一体化させたシート。先天性心疾患の外科手術における血流の修正、血液流路の確保及び周辺組織の構築・再建に用いられる。	シンフォリウム	帝人メディカルテクノロジー㈱

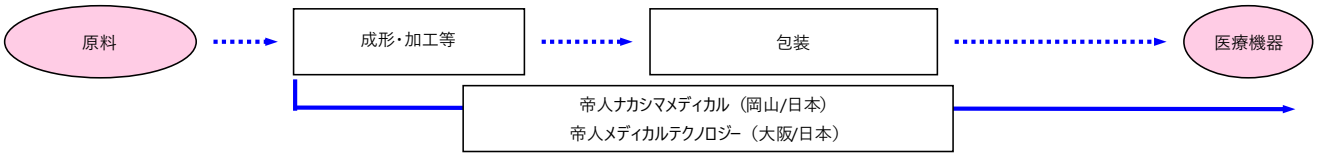
(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング取り扱いの製品概要は以下リンク先を参照

https://www.jpte.co.jp/business/

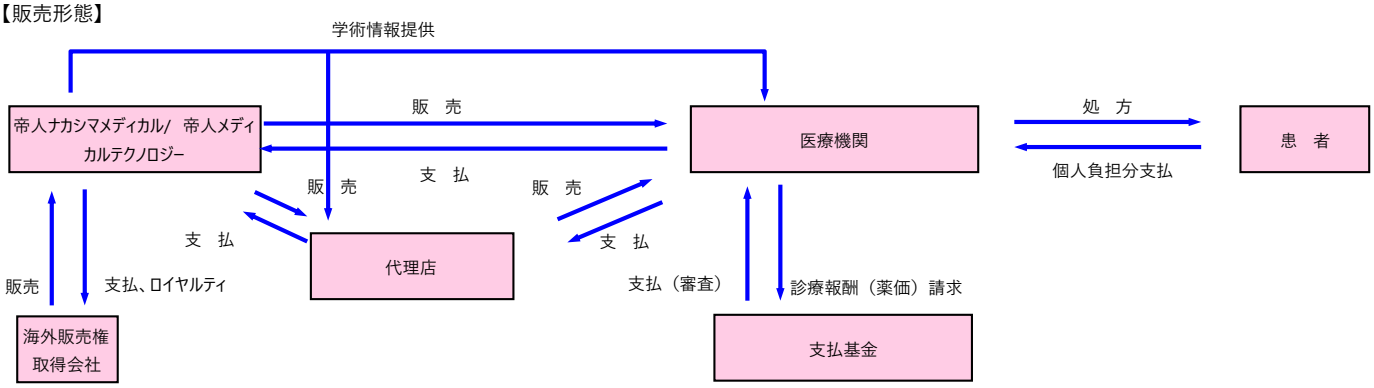
帝人ナカシマメディカル(株)取り扱いの製品概要は以下リンク先を参照

https://www.teijin-nakashima.co.jp/product/implant/

【プロダクトライン】



【販売形態】



●電池部材・メンブレン

【主要製品】

1. リチウムイオン2次電池用セパレータ「LIELSORT（リエルソート）」

リチウムイオン2次電池の正極と負極を隔絶する役割を担いつつ、リチウムイオンの移動を妨げることなく、
電池の安全性と特性を両立させたPE多孔質表面に帝人の アラミド樹脂またはフッ素系化合物を用いた特殊多孔質層を有する部材。
帝人が長年培ってきた高分子化学技術により、世界初の両面同時コーティング、および従来の5倍以上（当社比）に相当する高速コーティングを実現し、より効率的な生産を可能とした。

製品タイプ	特徴	
メタ系アラミドコーティング	高い安全性・長寿命化	メタ系アラミドをコーティングすることで、250℃でも形状維持 スポット加熱試験で350℃でも破膜しない
フッ素系化合物コーティング	高出力化・長寿命化	フッ素系化合物をコーティングすることで、 ポリマー電解質との易接着性や高電位による耐酸化性に優れる

2. 高機能メンブレン（多孔質膜）「MIRIM（ミライム）」

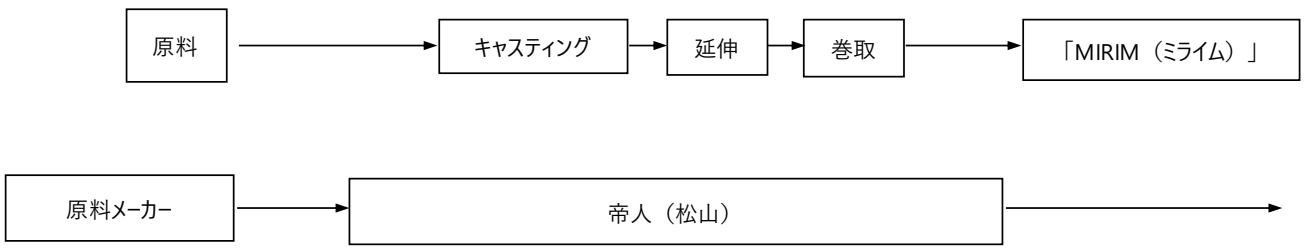
押出＋延伸という基本製膜技術にテイジンが長年培ってきた成形のノウハウを組み合わせることにより、
１）高い孔径精度　２）精密な膜厚コントロール　３）高空隙率　の３つの特徴を持ち合わせている。
この特徴を活かすことで、電子・半導体分野では、ろ過フィルター用基材としてナノレベル微粒子の異物除去に、エネルギー分野では、燃料電池用途の電解質膜や不織布を超える透湿防水膜、ライフサイエンス分野では、体外診断薬用途やウイルス除去・細胞分離膜などに高い性能を発揮。表面処理により親水化することが可能（同様に撥水化処理も可能）。

製品タイプ	特徴
単層メンブレン	表裏差がなく、均一孔構造を特徴としたポリエチレンメンブレン
複合メンブレン	単層ポリエチレンに不織布を貼り合わせた付加価値型のメンブレン 不織布を貼ることにより、メンブレンに剛性付与やプレフィルターとしての効果などが実現

【プロダクトライン】

1. リチウムイオン2次電池用セパレータ「LIELSORT（リエルソート）」

2. 高機能メンブレン（多孔質膜）「MIRIM（ミライム）」



●ビオリエ・ニュートラシューティカル

【製品概要】

分類	機種/素材	特徴	製品ラインナップ	販売会社
機能性食品素材	スーパー大麦	オーストラリア連邦科学産業研究機構が開発した大麦で、一般の大麦に比べて2倍の総食物繊維量と、4倍のレジスタントスターチ（難消化性でんぷん）を含むスーパーフード。	バーリーマックス®	帝人㈱
	チコリ由来イヌリン	オランダで栽培されたキク科の植物チコリの根から抽出されて作られる。水に溶けやすい性質から飲料および食品への使用が容易で、日本人が不足していると言われる食物繊維を手軽に摂取することが可能。	イヌリア®	帝人㈱
	ビフィズス菌	論文掲載数が最も多く、研究が進んでいるビフィズス菌。耐酸性で腸の奥まで生きて届くことや、粉ミルクにも採用されている安全性が特徴。	BB-12™[*1]	帝人㈱
	乳酸菌	膣内フローラのサポートに着目した、女性のための乳酸菌。2種類の乳酸菌がバランスよく配合され、腸の奥に届いて、長くとどまるという特徴がある。	UREX®[*2]	帝人㈱
		耐酸性で腸の奥まで生きて届く、数少ない品種。特殊な繊毛を持つことによる高い付着率が特徴で、乳幼児や高齢者まで安心して利用可能。	LGG®[*2]	帝人㈱
		4 つの生きた乳酸菌株をブレンドしたプロバイオティクス素材。膣内の常在細菌叢を健康な状態に保つことをサポートする。	ASTARTE™[*1]	帝人㈱
	ニコチンアミドモノヌクレオチド（NMN）	元来ヒトや生物の体内で自然に作られている物質で、人間すべての活動に不可欠な細胞のエネルギーを生み出すために必要な物質であり、老化現象を遅らせる効果が期待されている。	Nadaltas®	NOMON㈱
	わさびスルフォラファン（6-MSITC）	本わさびの根茎からわさび特有の辛味成分を取り除いたものの中にわずかに含まれている主な健康成分のことで認知機能の一部である判断力（情報を正確に処理する能力）や注意力を向上させたり、高い抗酸化作用により、活性酵素の発生を抑制することができる栄養素材。	WASAbis®	NOMON㈱

*1　BB-12™、ASTARTE™はChr. Hansen Holding A/S（デンマーク）の商標です。

*2　UREX®、LGG® はChr. Hansen Holding A/S（デンマーク）の登録商標です。

(株)帝人目黒研究所取り扱いの製品概要は以下リンク先を参照

https://www.meguro-kenkyujo.co.jp/product/